

高 文 連

高文連

第18号

第十八回

山口県高等学校文化連盟

山口県高等学校文化連盟

高文達

第 18 号

もくじ

あいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第28回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
[音楽関係 4 部門]	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠剣詩舞部門	23
展示 3 部門（美術・工芸、書道、写真）	24
囲碁部門	29
演劇部門	30
放送部門	31
将棋部門	32
文芸部門	33
第30回全国高等学校総合文化祭の記録	34
器楽管弦楽部門	36
合唱部門	37
吹奏楽部門	38
マーチングバンド・バトントワリング部門	39
日本音楽部門	40
美術・工芸部門	41
書道部門	42
写真部門	43
囲碁部門	44
放送部門	45
将棋部門	46
文芸部門	47
自主事業	48

参考資料

平成18年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書>	54
平成19年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書>	55
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定（会計、事務局、表彰、旅費支給基準）	57
平成18・19年度山口県高等学校文化連役員一覧	62
全国高文連の歌	64

ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟

会長 中島俊泰

防府市公会堂のホール一杯に高らかなファンファーレが鳴り響き、「羽ばたけ青春の翼 行こうあの夢の先へ」の大会テーマのもとに、高校生のみずみずしい感性と熱気溢れる若い力を躍動させた第28回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式をはじめ、県内各地で開催された各部門別の発表大会は、今年度も高校生や地域の方々に深い感銘を与え、多くの成果を収めて、成功裏にその幕を閉じることができました。

また、8月初旬に京都府で行われた第30回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ36校326名の生徒諸君が参加し、京都の高校生による心温まる歓迎を受けながら、参加生徒達はそれぞれ日頃の精進によって培われた力を遺憾なく発揮することができました。

とりわけ、囲碁部門の個人戦では、防府高校の横田仁美さんが全国第3位となり、また、放送朗読部門では、山口高校の浅谷結花さんが優秀賞を受賞するという快挙を成し遂げ、爽やかな笑顔とともに生涯忘ることの出来ない思い出となりました。

これら県内外での各種大会に参加した高校生達は、創造・感動・喜び、そして交流の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産を数多く得たものと確信しております。

更に、「やまぐち発 心ときめく文化維新」をテーマに、11月3日から10日間、県内一円で開催された「第21回国民文化祭・やまぐち2006」においては、県民手作りの総合舞台芸術作品の上演や観客も参加できる竹楽器の演奏会など、105の多彩な事業が繰り広げられましたが、本県の高校生諸君の活躍には目を見張るものがありました。

なかでも、子どもたちが文化芸術に触れ親しみ、豊かな感性や創造性を育むための文化環境づくりを進める「子ども夢プロジェクト」では、生徒の皆さんが文化を通じて、多くの元気を発信するとともに、国民文化祭の新たな「形」を全国に向けて提案することができたものと思っております。

願わくは、この大会テーマに相応しく、今後更に、生徒の皆さん一人一人が21世紀の新たな文化芸術の創造にチャレンジするとともに、その成果を未来へと繋げていただくことを心から念願する次第であります。

終わりに、本年度も終始温かい御指導を賜りました県教育委員会をはじめ、関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊の御挨拶といたします。

山口県高等学校文化連盟<各部門の報告>

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

* 6月15日（木）

* 曲目「大地讃頌」

「ハレルヤ・コーラス」

「あの空へ あの海へ」

* 指揮／中川聰・角中悦太郎

* 参加出演／器楽・管弦楽部門 114名

2. 平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

* 6月16日（金）、17日（土）

* 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・
管弦楽の演奏

* 参加出演／7校 約270名

3. 第30回全国総合文化祭

* 8月3日（木）・4日（金）

* 京都会館

* 山口県立山口中央高等学校が県
代表として参加

* ワーグナー作曲 序曲「リエン
ツィ」を演奏

4. 平成18年度山口県高等学校文化 連盟器楽・管弦楽部会

* 12月4日（月）

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者8名

* 第26回器楽・管弦楽スプリング

コンサート（岩国大会）、県総文全総文、
高文連表彰、役員改選などについて協議

5. 第26回器楽・管弦楽スプリングコンサート

* 平成17年3月27日（土）下関市民会館

* 参加7校によるギター・マンドリン、管弦
楽などの演奏

※今年度の全国総合文化祭京都大会では、本
県代表の山口中央高等学校が素晴らしい演奏を
披露いたしました。又、第21回国民文化祭山口
大会オーケストラの祭典ジュニアの部において
も、本県高文連器楽・管弦楽部会が中心となっ
て活動し、素晴らしい演奏をいたしました。本
県の器楽・管弦楽部門のレヴェルは全国的にみ
ても、非常に高いものだと思います。次年度以
降もますます、発展していくことを確信してい
ます。

▼第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式



合唱部門

理事長 三好五郎

(宇部中央高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会（開幕式典に備えての講習会）

- ・平成18年5月27日（土）
- ・講 師／内田 陽一郎（エリザベート音楽大学教授）
- ・内 容／発声と曲作り
- ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”

・場 所／山口県教育会館大ホール

・参加者／10校 159名

歌を歌うのに必要な筋肉の使い方や、練習方法を身体を動かしながら分かりやすくレッスンして下さり、事前に用意されたレジメに従って理論的に実習をされた。生徒は真剣なまなざしで受講し時間が経つにつれて声がどんどん出てき出した。午後にはハレルヤや大地讃頌の曲を作曲家の解釈を交えてレッスンが進んだ。終了後も先生の周りは質問の生徒で溢れていた。



2. 平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭開幕式典においての慶祝演奏

- ・平成18年6月15日（木）
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
“第21回国民文化祭・やまぐち2006子供たちへの応援ソング”
- ・山口県高等学校合唱団／10校（187名）
今年は、昨年と同様の、“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”、“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”に加えて、今年度が国民文化祭の年にあたる為、応援ソングである「あの空へあの海へ」を演奏した。参加校の多くが常日頃少人数で活動している為、生徒達はこの大合唱が貴重な経験となりました。本番は感動的で緊張感のある演奏を披露しました。

3. 平成18年度 第28回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・平成18年6月16日（金）、17日（土）
- ・防府市公会堂
- ・合唱単独出演者／4校（宇部中央・野田学園・サビエル・萩） 123名
吹奏楽・合唱合同1校（防府西）179名
吹奏楽・弦楽部・合唱部合同（防府）

4. 第30回全国高等学校総合文化祭

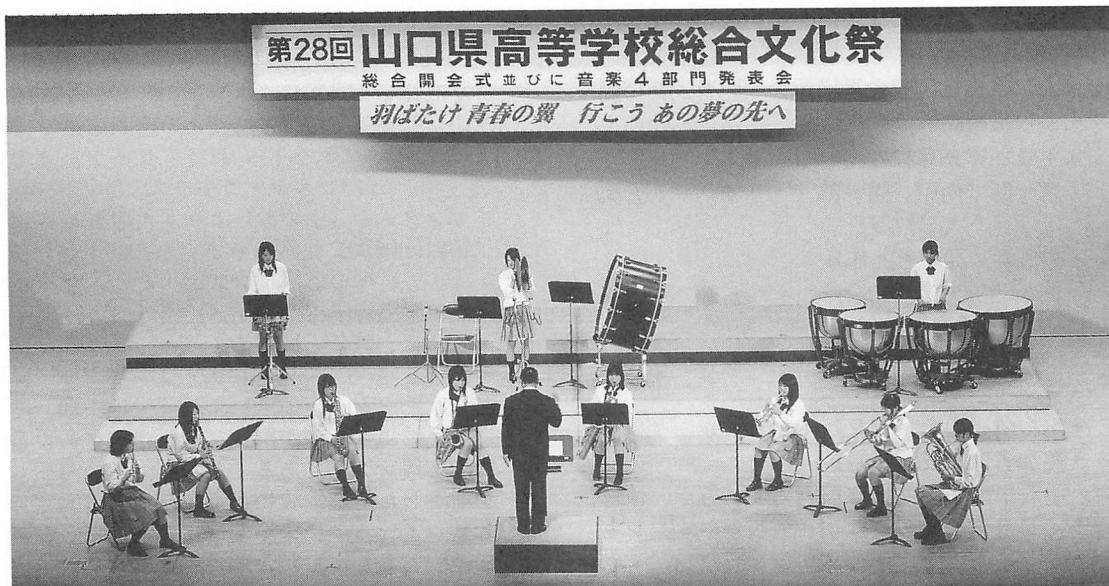
- ・平成18年8月6日（火）
- ・京都コンサートホール
- ・山口県代表／野田学園高等学校合唱部
- ・曲 目／Cantemus ! Patkoeknal
作曲 L. バルドゥス

5. 平成18年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・平成18年12月6日（水）
- ・山口県立宇部中央高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下4名
- ・議 題／県総文、全総文、18年度会計報告、高文連表彰
19年度事業予定などについて

吹奏楽部門

理事長 藤本博途
(岩国商業高等学校教諭)



平成18年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、「羽ばたけ 青春の翼 行こう あの夢の先へ」というテーマのもと、防府高等学校主管で平成18年6月15日(木)防府市公会堂で盛大に開催されました。吹奏楽部門は防府地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、防府西高校・藤元徹先生、防府高校・矢田部一俊先生の指揮のもとで、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日16日(金)、17日(土)の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じく防府市公会堂で開催されました。吹奏楽部門には53校1,920名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。

3. 全総文京都大会

全総文京都大会は8月3日(木)舞鶴市文

化会館で開催され、山口県代表として防府西高等学校吹奏楽部(藤元徹先生指揮)が出場しました。山口県代表として素晴らしい演奏をされ、大喝采を浴びました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を1月24日(水)山口南総合センターで開催いたしました。県下40名の吹奏楽指導担当者が出席し、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文島根大会への参加推薦等の多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

総会終了後、部会研修会を開催いたしました。今年は大阪府立淀川工業・工科高等学校の丸谷明夫先生の講演会を企画しました。丸谷先生は淀川工業高校を30年以上にわたって指導され、吹奏楽コンクール全国大会で金賞を受賞され続けておられます。K点を越えて~夢の瞬間へというテーマで話され、非常に有意義な研修会となりました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 繩田道孝

(山口県鴻城高等学校教諭)

平成18年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動について報告いたします。

1. 第28回山口県高等学校総合文化祭
総合開会式 平成18年6月15日（木）防府市公会堂において行われました。今年度は各部門紹介を構成劇という形で披露し、その中で地元ということもあり、誠英高等学校バトントワリング部が出演しました。続いて慶祝演奏では日本音楽の次に、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。

2. 第28回山口県高等学校総合文化祭
音楽4部門発表会 本部門の発表は、平成18年6月16日（金）に防府市公会堂において行われました。マーチングバンドでは、山口県鴻城高等学校、バトントワリングでは、慶進高等学校と誠英高等学校が出演しました。

3. 第30回全国高等学校総合文化祭
今年度の京都大会には、山口県鴻城高等学校吹奏楽部が、山口県代表としてマーチングバンド部門に参加しました。平成18年8月4

日（金）今治市の京都府立山城総合運動公園体育館でマーチングバンド・バトントワリング部門が行われました。「オペラ座の怪人」をテーマに素晴らしいドリルを披露しました。

4. 部門研修

バトントワリングでは鎌水栄子先生を講師にお迎えし、来る国民文化祭・やまぐち2006の演技指導をしていただきました。マーチングバンド・バトントワリングでは、3月17日（土）18日（日）の2日間、光青年の家において山口県吹奏楽連盟と合同主催の講習を実施

5. 国民文化祭やまぐち2006

オープニングパレードでは山口県鴻城高等学校吹奏楽部の演奏に乗せて、慶進高等学校がはつらつとしたバトン演技を披露しました。マーチングバンド・バトントワリングの祭典では、オープニングを山口県鴻城高等学校、エンディングを慶進高等学校、山口県鴻城高等学校他山口県合同チームで飾り盛大に幕をとじました。



日本音楽部門

理事長 田邊亨子
(早鞆高等学校)



平成18年度、山口県高文連日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第28回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月18日（木）主管校である防府高等学校のご尽力により、防府市公会堂に於いて盛大な総合開会式が行われました。画期的な構成劇「翼を下さい」による各専門部の紹介後は防府高等学校箏曲部が慶祝演奏として「陽だまり」を初々しい袴姿で演奏披露されました。静かな朝の光をイメージさせる曲想で始まった演奏は梅雨の晴れ間から差し込む温かな木漏れ日のように穏やかでとても心地よい空間でした。

2. 第28回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表大会

6月17日（土）シンフォニア岩国・多目的ホールにて開催された発表会は、岩国高等学校の主管で行われました。箏曲に13校、吟詠1校、能楽1校、郷土芸能（和太鼓）2校、そして三味線愛好会1校を加えた総勢148名の生徒達が、日頃の練習の成果を存分に発揮致しました。日本音楽の発表会は箏曲の演奏が主ですが、合吟・能楽・和太鼓・三味線など興味深い演目で構成されており、楽しい雰囲気の発表会でした。ここ数年、クラブの入

部希望者が減少していく寂しい感じでしたが、和楽器に対するひとり1人の思いは大変熱く、少人数であることを感じさせない発表ばかりでした。この発表会のためだけに一曲を半年間かけて練習に打ち込んだという学校もあり大変感動致しました。恒例の合同演奏では「花かけ変奏曲」を三味線との共演で6校が参加されました。当日、全くのぶっつけ本番とは思えない息の合った演奏は日頃の練習のたまものであると実感いたしました。スムーズな会の進行やご配慮など、大変充実した発表会ができましたのも、岩国高等学校のご協力のお陰だと心から感謝申し上げます。

3. 第30回全国高等学校総合文化祭

京都大会

8月5日（土）・8月6日（日）に京都府長岡京記念文化会館に於いて、全国から54校の参加で開催されました。予想以上の参加希望校があったため、各都道府県から選抜された1校のみが参加となりました。そのような条件のなかで代表校に選ばれる事がいかに大変であるかが一瞬にして察することができる演奏に息をのむ思いで聞き入ってしまいました。本当に厳しい練習を積み重ねたであろう気迫のこもった演奏には、少しの迷いも乱れもなく堂々と自信に溢れていました。また、さらに上のランクである高校生の日本一を目指す若いエネルギーは果てしなく無限大であることを痛感致しました。箏曲演奏者の層の厚さと箏曲のイメージを払拭させる全国大会の演奏を肌で感じることが出来た感動を是非、後輩へ引き継ぎ山口県の日本音楽発展とより一層のレベルアップに役立てていただきたいものだと思います。

美術・工芸部門

理事長 古賀 隆光
(宇部高等学校教諭)

平成18年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示
防府市公会堂のホワイエにおいて慶祝展示を行いました。防府、防府商、防府西、誠英、聾、防府養護各高校から26点の作品が出品され、総合開会式に華をそえてくれました。各学校が部活動に励んでいる姿が感じられる良い展示でした。

2. 全国高等学校総合文化祭〈京都大会〉

作品展示は京都市勧業館で行われました。全国から370点の出品があり、いずれもレベルの高い作品ばかりで見応えのあるものでした。その中にあって、本県から出品された絵画4点、版画1点、焼物1点は、全国の中でもしっかりと個性を醸し出していたように思います。この京都大会から区分けが平面と立体となった影響でしょうか、点数では絵画が昨年にくらべ44点も多く出品されました。立体作品は、様々な素材を駆使して多様な表現がなされていました。また、映像作品は2点ということで、思ったより出品されなかったなという感じでした。全体において、毎年レベルが上がっている印象を受けました。また、企画展は京都府内の学校の作品展示でしたが、全国の作品に劣らないレベルの高い作品が多く充実した展示となっていました。

さて、諸行事についてですが、日本画家の千住博先生の講演があり、講演のなかで、全国展出品作品を取り上げ、講評されました。交流会は、出品生徒が6名づつのグループに分かれ、お互いの作品を鑑賞しました。その後国立近代美術館に移動し、常設展示の鑑賞をしました。作品を制作するなかで、それぞれの人がいろいろな苦労をしているのだという事を、この交流会で感じることができたものと思います。唯作品を見るだけでは分から

ない事を知る意味でも、この交流会は有意義なものだと思います。

過去3年連続で台風にみまわれた全国総文でしたが、今年の京都大会は晴天に恵まれ、むしろ暑さに閉口するほどでした。古都京都と言われるだけあって、文化的に恵まれた地域なのだろうなと思いながら京都の街を歩いていると、山口県はどうなのだろうかと考えざるをえませんでした。国民文化祭だけでなく、日々文化を思い尊重していくべきではないかとつらつらと考えた京都大会でした。

3. 県総合文化祭展示部門

『第28回山口県高総文祭の記録』に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、10月13日（金）に宇部高等学校で行いました。24名の参加ということで、割と多い参加で大変うれしく思いました。美術の専門でない部顧問も参加され、より充実した協議会になりました。年に一度美術・工芸部顧問が、部活動の問題点あるいは県総文のあり方について意見交換をする場です。これから多くの顧問の参加を期待しています。



書道部門

理事長 有富由美
(防府高等学校教諭)

平成18年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高等学校総合文化祭総合開会式

防府市公会堂での総合開会式では式典の後、構成劇の形で各部門の紹介があり、書道部門は主管の防府高校書道部によるステージ演技「STORY」が披露されました。また、公会堂のロビーには、地元、防府・防府養護・高川学園からの作品を展示し、多くの来場者が地元の高校生の力作に足を止めて鑑賞していました。

2. 第8回高文連書道部会生徒研修会

8回目となった生徒研修会は、例年同様防府高校で行われました。内容は、午前中は特大筆を使っての一文字大書創作、午後からは『中原中也の詩』の共同作品の制作に取り組みました。参加者は生徒41名、顧問10名、計51名と、これまでで最多の参加者に恵まれ賑やかに行われました。

一字大書創作では各班5人ずつ8つのグループに分かれ、予め自分が選び、草稿を用意した一字を特大筆で、全紙1/2の画仙紙に創作しました。一本の筆を共有し、お互いに協力し合わなければ書けないこの活動は、学校の枠を越えて構成された班内で、お互いに協力し、交流が生まれる貴重な時間となりました。昼食を挟んで午後からは、共同作品『中原中也の詩』の制作を行いました。2007年は中也生誕100年に当たり、この年に山口県立美術



館で県総文を開催するということで、迷いなく今年は山口ゆかりの詩人中也を題材に選びました。数ある中也の詩から、高校生の創作にふさわしいものをと、『生い立ちの歌』、『帰郷』の2編を選び、1行ずつ、全紙1/8～1/6の大きさの画仙紙に創作しました。午前の部のグループをそのまま引き継ぎ、担当の先生方からアドバイスを受け練習を重ねるうちに、それぞれの表現したいものがだんだん鮮明になっていき、それが次第に一つの表情として完成していく過程には感心させられました。この作品は6曲屏風に表装し、1月に山口県立美術館で開催された山口県高等学校総合文化祭に、共同作品として出品展示し、好評を博しました。

3. 全国高等学校総合文化祭〈京都大会〉

全総文祭会場の京都市勧業館（みやこめっせ）は京都の文化施設が集まる岡崎公園内にあり、その巨大な建物の1階フロアが書道、2階が美術の展示会場でした。山口県代表の防府、高水、高川学園、中村女子の四校の作品はいずれも全国大会のレベルにかなう、古典に忠実に挑んだ力作であったと思います。県大会からさらに大型化し、内容も随分練度が増しており、その成長ぶりに感心とともに、本人の努力はもとより顧問の先生方の力強いご指導にあらためて感謝した次第です。その作品については「全総文祭の記録」のページで詳しく紹介します。



写真部門

理事長 佃 幸憲
(光高等学校教諭)

平成18年度の山口県高等学校文化連盟写真部門の活動状況についてご報告致します。

1. 平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式における慶祝展示

今年度は、6月15日（木）から17日（土）まで、防府市公会堂にて、総合開会式ならびに音楽4部門発表会が開催されました。

写真部門では例年、前年度の県総文にて優秀作品に選ばれ、今年度の全国大会（京都府で開催）出品候補作品として選ばれたものを、期間中に慶祝展示しております。今年度は以下の5点を展示しました。（すべて全紙・モノクロ・単写真）

下松工業高校	3年	大嶋 龍作	「岩礁の鶴」
山 口 高 校	2年	森永真由美 作	「斜陽」
西 京 高 校	3年	松本沙央里 作	「勝利を祈って」
宇部工業高校	3年	倉本 祐貴 作	「列車内」
小野田工業高校	2年	藤井 祐弥 作	「封印」

出展にご協力頂いた顧問の先生、ならびに生徒の皆さんに感謝いたします。

2. 平成18年度第30回全国高等学校総合文化祭写真部門〈京都大会〉

8月2日（水）から8月6日（日）までの5日間、京都市にあります京都文化博物館にて、上記の5作品が展示されました。猛者の中の大会でしたが、交流会・撮影会などに参加された先生方・生徒の皆さん、お疲れ様でした。

京都大会へ参加した学校からの報告については、本冊子の「第30回全国高総文祭 写真部門の記録」をご覧下さい。

なお、平成19年度の本大会は、島根県松江市で開催されます。

3. 第21回 国民文化祭・やまぐち2006への応募・協賛出品

今年度は、国民的文化行事として、上記の大きな催しが県内各地で実施されました。

写真部会理事長も、この大会の推進委員として大会運営に関係し、過去に行われた全国

高総文祭の様子などを参考に、大会運営のノウハウについて、計画・立案の面で協力いたしました。

国民体育大会と同じく、山口県の一大行事ということもあって、各地で各部門ごとに盛大なイベントが実施されました。

特に写真部門では、開催前年にプレ大会（写真家の対談・シンポジウム）、開催年には入選作展示・シンポジウムが行われました。また、大人の部の写真コンテストとして知られている本大会にも、高校生からの出品もあり、柳井学園高校の作品が2点入選しました。1点はポートレート撮影、あと1点は携帯で撮影した写真を用いたグラフィック的作品でした。この2点は、4、の県総文にて協賛出品展示を致しました。

また、本大会の会場が周南市美術博物館ということもあり、徳山フォトエキシビションへの協力もしました。（JR徳山駅構内2階に、1、の慶祝展示作品などを出品展示し、高校生の写真活動の様子を紹介しました。）

4. 平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭 展示3部門〈山口大会〉

今年度は、「国民文化祭・やまぐち2006」の開催時期（11月）との重複を避けるため、平成19年1月12日（金）から14日（日）にかけて行われました。

本大会の詳細については、本冊子の第28回山口県高総文祭（展示3部門）の報告をご覧下さい。



囲碁部門

理事長 広瀬泰夫

(徳山商工高等学校教諭)

本年度から理事長を引き受け、よく分からな
いまま活動した部分もありましたが、とりあえ
ず一年を振り返ってみたいと思います。

1. 山口県高校総合文化祭開会式慶祝展示

開会式会場となった防府市公会堂のロビー
に写真を3枚掲示しました。また、ステージ
では山口県鴻城高校の演劇に防府高校の囲碁
将棋部が参加しての部門紹介の構成劇が繰り
広げられました。大変おもしろい企画でした。

2. 理事会

7月、9月、10月、11月、12月と4回理事
会を開き、活動についての話し合いや打ち合
わせを行いました。理事は昨年度のメンバー
に人事異動を考慮して決めました。

3. 全国高校総文囲碁部門出場

8月5日・6日、京都で開催されたこの大会に、生徒引率をかねて行って来ました。結果は、団体戦（徳山工：伊藤、下関西：安藤、宇部：本郷）が2勝5敗で37位、男子個人戦（徳山：木村悠）が3勝3敗で29位、女子個人戦（防府：横田仁美）が5勝1敗で3位でした。横田さんは他に2つの部門にも出場するという大活躍だったのですが、このことに関しては、本人に別の頁で報告してもらっています。

4. 山口県高校総文囲碁大会

10月22日（日）、周南市総合スポーツセン
ターにて開催されました。今までの大会はほ
とんど学校で開催されていましたが、バリア
フリーを考えると本校には適当な部屋がなく、
この会場にしました。この大会に関しては、



かなりの部分で新しいスタイルを取り入れま
した。まず、試合を代表決定戦と段級位認定
戦に分け、出場者にはいずれかを選択してもら
いました。試合形式もすべてスイス方式で
行い、組み合わせはパソコンで自動的に行い
ました。これらのことは全国大会等の上位大
会に習ったものでした。賞状や認定状も手書き
からプリンター印刷にしました。また、プ
ログラム印刷は印刷会社に出していたものを
校内印刷に切り替えました。これらの作業の
ためにプリンターを購入しましたが、それ
でも経費は削減され、毎年の課題であるデジタ
ル対局時計の補充も昨年度を上回ることができ
ました。大会の結果に関しては、別のところ
で報告します。

5. 中国囲碁選手権

12月25日・26日に出雲市で開催された大会
に生徒引率をかねて行って来ました。行く途
中に車窓から見えた冠雪の大山がとても美し
く、この時期を感謝しました。

島根県は来年度の全国大会引き受けを視野
に入れての大会運営でした。県内の出場選手
は準備にも協力していましたようでした。印象的
だったのは大会の運営を進行からパソコン操
作、賞状書きまですべて生徒がやっていました
ことです。これには驚きました。

さて、大会の結果ですが、団体戦は男子：
下関西高校、女子：防府商業高校がともに準
優勝。個人戦は男子が下関工業高校の藤本裕
樹君がみごと全勝で優勝、女子では徳山商工
高校の中島美嬉さんが5位に入賞でした。

6. 研修大会

2月4日（日）に山口南総合センターにて
開催予定です。参加者は理事会で推薦した者
の中から本人に決めてもらいますが、推薦さ
れた生徒は、県の大会で代表決定戦に出場し
た者がほとんどです。

以上が本年度の活動の報告になりますが、來
年度は中国囲碁選手権の引き受けという大事業
があります。本年度のいくつかの改革もそれを
見据えてのものでした。多くの先生方や生徒諸
君の協力を得て、なんとか乗り切りたいと考え
ています。

演劇部門

理事長 村岡 圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)

《春季全国高校演劇フェスティバル》

今年の3月31日に華陵高校が、東京の劇団「四季」自由劇場にて開催された春季高校演劇フェスティバルに中国高演協から推薦されて参加しました。上演作品は昨年の中国大会で発表した『また明日』でした。参加した生徒達は、常設のプロの芝居小屋でプロのスタッフと仕込みやリハーサルの段階から一緒に劇作りが出来たことに、大変感動していました。年度内開催の全国大会ということで、いろいろと問題もあるようですが、何といっても卒業した3年生が最後に「高校生」として上演できる大会ということに、参加した関係者は喜んでいました。みなさん、お疲れさまでした。

《第44回中国地区高等学校演劇発表会》

今年度の中国地区発表会は島根県松江市の島根県民会館で開催されました。来年度の全国総合文化祭開催県ということでプレ大会として、来年の全国総文のPRもしていました。中国大会は中国五県各2校の出場（開催県は3校）で、11校で全国のキップを争います。山口県からは長府高校と防府商業高校の出場でした。会場はステージ客席とも大変広く余裕のある空間でした。（客席は1500ぐらい）今大会では各校の大道具の量が例年以上に大きく場所をとっていたのが印象に残りました。来年の中国大会開催場所の山口情報芸術センターでは、絶対に入りきらない量でした。（心配です…）

大会結果は残念ながら、山口代表は全国大会出場は成りませんでした。来年の中国大会は山口で開催されます。関係各位のご協力をよろしくお願ひいたします。

<山口2006国民文化祭終了>

国民文化祭が山口県で開催され無事に終りました。推進委員の私はジャグリングの会場責任者や現代劇オーブニングの司会、交流会の司会など不似合いなことばかり頼まれました。創作劇制作にかかりたかったのですが、なにぶん人手不足のためボランティアとして演劇以外の所でのお手伝いとなりました。創作劇に参加した本校の生徒は台本2本を同時期に読み込むという荒技をタレント並みに

こなしていました。（若いって素晴らしい）彼のそのバイタリティーに感服しました。

事務局はあと2年の予定です。高文連の事務局は下関地区に引き継ぎ予定です。来年の中国高演協事務局は岩国総合高校に決まりました。

《第28回山口県総合文化祭総合開会式》

今年度、防府市公会堂で行われた県総合文化祭総合開会式で国民文化祭の開催記念として、開会式の内容を一部変更し、演劇部門を中心に他部門との協力を得て、構成劇『翼をください』を上演しました。脚本・演出等準備段階で大変なこともありましたが、色々な協力もあり無事上演できました。ありがとうございました。

【各地区大会上演一覧 ◇は創作】

【周防地区】

岩 国「お葬式」	亀尾 佳宏
岩国総合「変身・へんしん・H æ～jin」	香川 健太◇
光 丘「部室」	晴 風◇
華 陵「あのね」	雅陵 凤雛◇
新 南陽「情報屋」	秋月 鞘◇
高 森「おもちゃは箱を飛び出して」	

四次元空間の詐欺師

【山防地区】

山口鴻城「春夏秋冬」	渚 太陽◇
西 京「Up To You！」	MIYU
防 府「お願いだから止めないで」	楽 静
中村女子「ラフメーカー」	山尾 彩香◇
山口中央「見あげればヴァーミリオン」	ヨシダユタカ
防府商業「Letters」	木川田敏晴◇
山 口「夢屋」	灰原カナメ

【下関地区】

下関工業「絡縄灯籠物語～正しい道具の説明書～」
架黄（敢太）

長 府「summer」	オオウチミツホ
下関中等「童話裁判」	森本ゆかり
下 関 西「七人の部長」	越智 優
田 部「お父さんといっしょの地中海」	赤間幸人
下関南業「ギャルゲー」	古城 十忍
下 関 南「そうーゆーことも」	小林 洋

【宇部地区】

宇部中央「ひぐらし」	演劇部◇
宇 部「七人の部長」	越智 優
宇 部 西「ナイーブ」	大沢ケイト
サビエル「氷羅」	東佑 美子◇
宇部フロンティア大学付属香川「操り人形の男」	

村上 理恵◇

放送部門

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

1. 山口県高等学校総合文化祭開会式

6月15日の式典・慶祝演奏の司会は山口高校放送部、音楽4部門発表会のうち、16日は山口中央高校放送部、17日は主管校の防府高校が司会を担当しました。

2. 全国高等学校総合文化祭京都大会

8月5日（土）6日（日）に京都市宝ヶ池の京都国際会議場で放送部門の発表がありました。5日はアナウンス部門 郷野寛乃さん（熊毛南高校）、藤本美智子さん（徳山高校）、池畠美樹子さん（山口高校）、オーディオピクチャー部門「ちょっと一言よろしいかしら？」（山口高校）、ビデオメッセージ部門「御神籤」（徳山高校）、6日は朗読部門 増岡千晴さん（熊毛南高校）伊集院静作「えくぼ」、田中亞矢巳さん（徳山高校）重松清作「きよしこ」、浅谷結花さん（山口高校）重松清作「きよしこ」の発表がありました。浅谷結花さんは優秀賞を受賞しました。

3. 第11回高文連放送部門研修会

8月19日（土）に山口高校会議室にて朗読・アナウンスの基本についての研修会を実施しました。台風上陸にもかかわらず、44人の参加者がありました。講師はNHKアナウンサーの藤井克典さんで、午前中は講義があり、午後は昼休みに作成した自分のアナウンス原稿を発表しました。お題は「夏休みの成果」で、藤井アナウンサーから一人ずつ講評をいただきました。「伝える」ということを主眼においた指導で、もともとは書き言葉であった近代日本語を話し言葉として伝えるにはどういった工夫がいるか、と日本語の歴史にまで言及した興味深い講義でした。研修会についての簡単なアンケートを実施したところ、概ね有意義であったという回答で、中でも自作の原稿の作成・発表が好評でした。当日は台風のため開催が懸念されましたが、低気圧も押し

返す勢いの熱氣あふれる研修会となりました。

4. 山口県高等学校総合文化祭

第13回放送部大会

11月11日（土）ニューメディアプラザ山口にて開催。朗読部門は30名、アナウンス部門は22名、オーディオピクチャー部門4作品、ビデオメッセージ部門3作品の参加がありました。参加校は全部で12校でした。午前中は朗読部門・アナウンス部門の発表で、いままで審査員一人でしたが、今年は山口放送KRYの中谷隆宏さん、テレビ山口tysの小山一英さん、山口朝日放送yabの田中寿江さんの民放三社の3人のアナウンサーによる審査が行われました。番組部門は昨年と同じく山口放送KRYの久保和成さんによる審査でした。

5. 国民文化祭閉会式

11月12日（日）阿知須のきらら元気ドームで第26回国民文化祭・やまぐち2006のグランドフィナーレがありました。熊毛南高校の郷野寛乃さん、増岡千晴さん、原田めぐみさん、福本亜希子さんと、山口農業高校の飯田勇治さん、大石龍介さん、堂込香織さんが司会進行役として活躍しました。皆山口県立大学の水谷由美子教授の研究室の学生がデザインしたデニムの衣装を着ました。



将棋部門

理事長　岡　茂　樹

(防府高等学校教諭)

将棋部門が山口県高等学校文化連盟に加盟して11年目になりました。事務局は防府高校で、例年通り3つの事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

防府・防府西・防府商業・多々良学園高校が担当で、6月15日（木）～17日（土）にかけて防府市公会堂を会場に開催された総合開会式で、将棋部門大会の様子を撮影したパネル写真を展示しました。また、総合開会式では構成劇「翼をください」にも出演し、迷演技を披露しました。

2. 第28回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第42回全国高等学校将棋選手権大会県予選

防府高絞の担当で、5月27日（土）28日（日）の2日間、防府市文化福祉会館で開催されました。21チーム69名の参加で、初日は団体戦。2日目は16校81名の参加で、男女の個人戦が繰りひろげられました。団体戦は宇部高校が9連覇の大偉業を達成しましたが、準決勝の防府高校戦は僅差の勝負でした。部員不足に悩みつつも、宇部高校の伝統の力と県代表にかける執念を見せつけました。また、

個人戦は実力者が揃う3年生の中で、防府高校の武石君と防府西高校の松本君の決勝戦となり、大熱戦の末、武石君がまさかの初優勝を飾りました。また、日本将棋連盟の山口支部の先生方の熱心な御指導も受けることができ、2日間で百名を超える参加者にとって、大盛況の大会でした。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

防府高校の担当で、11月5日（日）に山口市のスポーツ文化センターで、国民文化祭と連携して開催しました。先生方は大会運営の研修と情報交換。生徒は、対局を中心とした棋力向上を図る内容でした。1・2年生を中心に11校、54名の参加がありました。新人王戦で優勝したばかりの糸谷哲郎プロ四段、北村公一アマ六段の御協力を得て指導対局、大盤解説をしていただきました。決勝戦の大盤解説は国民文化祭の来場者にも見ていただきました。

《研修対局の結果》

○男子

- 1位 熊谷 安剛（岩国工業高校2年）
- 2位 香具 直希（宇部高校1年）
- 3位 合力 輝一（防府高校1年）
- 3位 吉田 貴志（宇部高校1年）
- 5位 山田 直樹（高川学園高校1年）
- 5位 濱田 裕（下関西高校2年）

○女子

- 1位 石田ともみ（徳山高校2年）
 - 2位 伊原 綾菜（防府高校1年）
 - 3位 足立 陽子（防府高校1年）
- 年末に広島市で行われた中国大会では、熊谷君が第9位、石田さんが第4位と健闘しました。



文芸部門

理事長 国嶋洋治
(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示
文芸部門は、第3回文芸コンクール入賞者が自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、額装にしたものを作成し、県内の各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

2. 全国高等学校総合文化祭京都大会

8月4日（金）から6日（日）の3日間、京都府亀岡市ガレリア亀岡を会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県からは、山口中央高校1名、山口高校1名、下松高校1名、防府高校1名の計4名が参加しました。大変有意義な大会でした。

3. 文芸部夏季研修会

8月18日（金）周南市市民会館を会場に文芸部門研修会を開催しました。

台風接近中にもかかわらず、7校22名の参加者が、全国大会の報告を行いその後、生徒は各校の状況を発表しあいの学校の情報交換をして交流を深めました。また、教員は秋の大會についての話し合いを持ちました。

4. 第4回文芸コンクール

今年度の県コンクールには17校129作品の応募があり、この中から各部門最優秀4作品、入選12作品を選びました。

作品数は昨年と変わり1・2年生のみの応募でしたが（全国総文に推薦のため）3年生の作品が無くなかったとはいえ力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

5. 平成18年度第4回文芸部門大会

10月21日（土）新南陽ふれあいセンターにて今年度の文芸部門大会を開催しました。

午前中は短歌についてのお話をさせていただき、午後の分科会は各講師を招聘して充実した分科会となりました。あわせてコンクール入賞者の表彰式も行いました。

6. 第8回高校生文芸道場中国大会（岡山大会）

11月17日（金）文芸道場中国ブロック大会が、岡山県岡山市の天神山文化プラザ会場で開催され、山口県からは、西京高校から4名、徳山商工2名が参加しました。岡山県は2回目の引き受けということもあって、大会運営も手馴れた感が見られました。大会にあわせて行われた作品コンクールには山口県から4校26作品が応募し、文芸誌部門で山口高校が優秀賞、散文部門で防府高校が優秀・入選、詩部門で萩高校が入選に選ばれるなど優秀な成績をあげました。今後も大いに期待できます。なお来年度は山口県の引き受けとなり文芸専門部一同開催の成功を願って準備に余念がありません。



第28回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：防府市公会堂

主管校 矢田部 一俊
(防府高等学校教諭)



第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、第21回国民文化祭・やまぐち2006の協賛事業として、『羽ばたけ青春の翼 行こう あの夢の先へ』のテーマのもと、平成18年6月15日(木)13時から防府市公会堂で盛大に開催されました。この総合開会式は、例年どおり翌16日(金)からの2日間にわたり開催される音楽4部門発表会との合同開催であり、3日間で延べ3,000名余りの生徒が県内から参加しました。山防地区による開催のため、主管校である防府高等学校を中心に、同地区の各高等学校が連携を取り合い協力して大会に臨みました。

総合開会式の式典は、藤井俊彦山口県教育委員会教育長、松浦正人防府市長をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、厳粛に行われました。まず、主管校生徒代表・秦佐唯里さんの開会宣言とともに、防府地区高等学校合同吹奏楽団が演奏するファンファーレで開幕しました。

開会式には藤井教育長、中島県高等学校文化連盟会長から「志を共にして集まった県内の多くの仲間たちと相互交流することにより、この文化祭が新たな発見と感動を体験できる場となり、この大会を通して若い感性に磨きをかけ、友情と交流の輪を広げ、新たな文化創造の原動

力になることを期待する」とあいさつがありました。続いて主管校生徒会長・山本健人君が「この大会で他の個性に触れ、自らの個性に磨きをかけて欲しい」と呼びかけました。松浦防府市長によるあたたかい歓迎のことばの後、山口県高文連表彰へと移りました。

「功績賞」は、合唱の指導に尽力された萩高等学校の有富美子先生が受賞され、「優秀芸術文化賞」は、全国高等学校総合文化祭（青森大会）で優秀賞（全国3位）に輝いた華陵高等学校舞台芸術部が受賞しました。今年度県高等学校総合文化祭テーマに選ばれた防府高等学校3年熊谷紀美子さんには「テーマ最優秀賞」が授与されました。

今年度の専門部紹介は「構成劇：翼をください」を山口県鴻城高等学校演劇部が中心となって熱演し、好評を博しました。新しい試みでしたが、村岡先生の熱心な指導の下、今までない程の感動的で分かり易い部門紹介となりました。

慶祝演奏は、防府高等学校邦楽部の筝の合奏

に始まり、山口県鴻城高等学校の迫力あるマーチングステージ、防府地区合同吹奏楽団のワーグナー、最後に県高等学校合同合唱団及び合同管弦楽団による「ハレルヤ」「大地讃頌」、国民文化祭・やまぐち2006応援ソング「あの空への海へ」の大合唱で2時間に及ぶ開会式の幕を閉じました。なお、進行及びアナウンスは防府高等学校、高文連放送部会が担当し、会場には防府高校、防府商業高校の生徒が参集して有意義な文化交流を体験しました。

また、慶祝展示は、公会堂のロビーにおいて、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸の7専門部が行いました。今回、総合開会式は防府高等学校主管で開催ましたが、音楽4部門発表会は山防地区の先生方の御協力によりスムーズに進行することができました。

最後に、この大会を開催するにあたり、関係諸機関、多くの先生方の御尽力を賜り、無事終了することができましたことを衷心よりお礼申し上げます。





▲会長あいさつ



►板村桃子(防府高校)さん
イラストを基にしたポスター



▲慶祝演奏



▲慶祝展示

◇慶祝演奏

<日本音楽>

『陽だまり』

【演奏】山口県立防府高等学校絞邦楽部

<マーチングバンド>

『オペラ座の怪人』

【演奏】山口県鴻城高等学校吹奏楽部

(指揮) 絶田 道孝

<吹奏楽>

『エルザの大聖堂への行進』

【演奏】防府地区高等学校合同吹奏楽団

(指揮) 矢田部一俊

<合唱、器楽・管弦>

“オラトリオ《メサイア》” より

『ハallelヤコーラス』

“カンタータ《土の歌》” より

『大地讃頌』

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 中川 聰

<全員合唱>

『あの空へあの海へ』

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 角中悦太郎

<放送>幕間出演及び進行アナウンス

山口県高等学校文化連盟放送部

◇慶祝演奏出演校

<日本音楽>

防府高等学校

<マーチングバンド>

山口県鴻城高等学校

<防府地区高等学校合同吹奏楽団>

防府 防府西 防府商業 各高等学校

<山口県高等学校合唱団>

野田学園 山口中央 中村女子 サビエル

岩国 防府 萩 宇部 宇部中央 萩光塩

..... 各高等学校

<山口県高等学校管弦楽団>

下関南 山口中央 防府 柳井

..... 各高等学校

◇慶祝展示

<美術・工芸>

防府 防府西 防府商業 防府養護 聾

誠英 各高等学校

<書道>

防府 防府西 防府養護 多々良学園(高

川学園) 各高等学校

<写真>

下松工業 山口 西京 宇部工業 小野田

工業 各高等学校

<囲碁>

宇部高等学校

<将棋>

防府 防府西 防府商業 多々良学園(高

川学園) 各高等学校

<演劇>

華陵 宇部 各高等学校

<文芸>

柳井商業 下松 防府 山口 山口中央

下関南 萩 各高等学校

◇進行アナウンス

山口県高等学校文化連盟放送部

◇山口県高等学校文化連盟 表彰者

《功績賞》

有富美子(合唱専門部)

平成11年度より6年間に渡り、合唱専門部理事長として本連盟の発展と本県高校文化活動の発展に多大な功績を残した。

《優秀芸術文化賞》

山口県立華陵高等学校 舞台芸術部

第29回全国高等学校総合文化祭(青森大会)

演劇部門 優秀賞受賞

第16回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演出演

《テーマ最優秀賞》

熊谷美紀子(山口県立防府高等学校)

第28回山口県高総文祭の記録

音楽関係4部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：防府市公会堂

理事長 飯田幸生

(下関南高等学校教諭)

平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月16日(金)、17日(土)の2日間にわたり防府市公会堂において開催されました。また、前日15日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下5校の管弦楽部の代表たちが集い、110名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハallelヤ・コーラス”そして佐藤眞作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”的2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、防府西高等学校の中川先生の躍動感あふれる力強い指揮のもとで、開幕式典にふさわしく莊重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。

その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたり開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター、マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の宇部大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：防府市公会堂

理事長 三好五郎
(宇部中央高等学校教諭)

平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月15日（木）「防府市公会堂」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門との合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱（岩国、山口中央、野田、中村女子、宇部中央、サビエル、萩、萩光塩、宇部、防府の10校・計187名）は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。会場は音響的にはデッドな方で、音響面での心配をしていましたが、生徒等の集中した演奏は感動的でした。今年度は国民文化祭の年でもあり、11月の合唱の祭典（シンフォニア岩国）にもつながる熱演でした。日頃小人数でしか活動出来ない学校の生徒達は、毎年の事ながらオーケストラとの共演で、とても貴重な体験をすることができました。

また、音楽部門4部門の発表は、6月18日（金）、19日（土）の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、6校（宇部中央、防府、防府西、野田、萩、サビエル）出演者は約180名でした。各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

問題点としては、年々合唱部員が少くなり、参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきたいものです。

来年度は、「宇部渡邊翁記念館」で開催されます。また次回もすばらしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：防府市公会堂

理事長 藤本博途
(岩国商業高等学校教諭)

平成18年度第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月15日（木）防府市公会堂で開催されました。吹奏楽部門として例年どおり開幕式典に防府地区高等学校合同吹奏楽団（防府 防府商業 防府西 各高等学校）を編成し、防府西高校の藤元徹先生の指揮で、ファンファーレを華やかに演奏し開幕しました。慶祝演奏では防府高校の矢田部一俊先生の指揮で、ワグナー作曲「エルザの大聖堂への行進」を力強く、美しく演奏しました。

音楽4部門発表会は翌16日（金）と17日（土）の2日間にわたって開催されました。吹奏楽部門には53校1,920名の生徒が参加し、すばらしい

演奏を披露してくれました。少子化が続き部員が少なくなっている学校もありますが、演奏力は衰えておらず、各校ともすばらしい演奏でした。一日日の最後は防府西高校（藤元徹先生指揮）の伴奏で、二日目の最後は防府高校（矢田部一俊先生指揮）の伴奏で、「翼をください」を全員合唱し、感動の中で閉幕しました。主管校の防府高校を始めとして、防府地区の生徒補助員の動きや態度が例年以上に大変素晴らしい、高校生らしかったことが特筆されます。平成19年度は宇部市渡邊翁記念会館で開催されます。またすばらしい演奏が聴けることを期待しています。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：防府市公会堂

理事長 繩田道孝
(山口県鴻城高等学校教諭)

第28回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月15日（木）に、続く6月16日（金）に音楽4部門発表会が、いずれも防府市公会堂を会場に盛大に開催されました。今年度は新しい試みとして構成劇「翼をください」の中で山口県鴻城高等学校演劇部を中心に各部門紹介を行ない、その中で誠英高等学校がバトン演技を披露しました。続く慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部がステージドリルを披露しました。

音楽4部門発表会では、本部門はマーチング

バンド1校、バトントワリング2校の計3校で参加しました。バトントワリングでは、誠英高等学校と慶進高等学校がそれぞれ演技し、日頃の練習成果を発表しました。マーチングでは、山口県鴻城高等学校がすばらしいステージパフォーマンスを披露しました。

ステージ転換等大変ご迷惑をおかけしましたが主管校の防府高校をはじめ防府地区の先生方、生徒のみなさんによるスムーズな運営に心から感謝いたします。



日本音楽・吟詠部門

会場：シンフォニア岩国

主管校 木坂 佳津江
(岩国高等学校教諭)

6月17日、第28回山口県高等学校総合文化祭日本音楽・吟詠部門の発表大会が、シンフォニア岩国多目的ホールにおいて開催された。小雨のぱらつくあいにくの土曜日だったが、開場前のシンフォニア岩国は、緊張感と熱気につつまれた。前回岩国地区の引き受けの年には、コンサートホールを使用したのだが、もう少しこじんまりとした会場でもよいのでは?との反省の声を生かし、今回多目的ホールでの開催となつたのである。

昨年より一步でも前進をと、今回は次の2つのことに力点を置いて準備にあたった。まず一つめは、合同演奏の充実。せっかく近くに高水高校の三味線同好会があるので、三味線の入った曲にしようとまず打診した。快諾を得てついでに十七絃も加えると、さらに厚みのある演奏になるのではと考え、距離的にわりに近い柳井高校、聖光高校にそれぞれ出演を依頼。あとは例年どおり十三絃の第一箏と第二箏のパートを募った。総勢26名の参加が得られ、今度は更によりよいものをと、合同練習をする運びとなった。参加校が広範囲に及ぶため、全員そろっての練習は無理だったが、近隣の学校だけでも一度合わせてみようと、まずは高水高校の三味線と本校の琴で打ち合わせをした。そして大会2週間ほど前に、近隣4校で合同練習。各学校の顧問で意見を出しあい了解しあい、また生徒達も互いに交流を図ることができ、高校総文を通して学校の枠を越えた仲間の輪が広がっていったと思う。その後打ち合せ事項について、他の参加校に連絡。当日の演奏は大成功で、午前の部の最後を飾るにふさわしいものであった(らしい)。もう一つ。大会参加とは自分達の演奏を披露して終わりではない——参加校は最初から最後まで他校生の演奏・演技をきちんと鑑賞し

ようというもの。これについては参加校の協力をいただき、今年度は閉会行事終了まで観客席が埋まって(いたことを伝えられ)、ほっと胸をなで下ろした次第である。〔()内について……当日は全くの裏方に徹し、ステージ及び客席のことについて、私自身はよく知らない。〕

ところで琴の演奏の番組は、最近お正月でもめっきり少なくなり、唯一普段日本音楽を放送しているNHKでも、琴の音はあまり聞かれない。吉田兄弟他の登場でブームとなつた三味線により、あるいは中学校の学習指導要領の改訂により、日本音楽全体が活気づくかと思われたが、日本音楽離れはこのまま一層進んでいくのであろうか。顧問会議ではこのところ、部員確保の難しさがよく話題に上る。道のりは険しいが、県内の日本音楽の灯がより輝きを増すよう各学校とも努力していかなければなるまい。

何はともあれ私が裏で走り回っている間に、大会はつがなく進行し盛会のうちに幕を閉じた。本大会が無事終了できたのは、関係者各位の支援と本校教職員の協力を得られたからにはほかならない。紙面をもって深くお礼を申しあげたいと思う。



展示3部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：山口県立美術館

主管校 柴崎正比古
(山口中央高等学校教諭)

「羽ばたけ青春の翼 行こうあの夢の先へ」のテーマの元、平成18年度高校総文祭展示部門大会は、平成19年1月12日(金)～14日(日)の3日間天候にも恵まれ開催されました。

会場は山口県立美術館でしたので、会場設備等さすが県内最高の展示空間となり生徒の作品もよく映えたのではと一人満足されたと自負しています。

会期としては希望した11月は「雪舟没後500年記念」の企画展があり、年明けの1月中旬の実施となり下記のように決まりました。

〈日程〉

1月11日(木)	1月12日(金)	1月14日(日)
	13日(土)	
9:00～会場設営	9:00～開館	9:00～開館
15:30～審査会	17:00 閉館	13:00～表彰式
18:00 閉館		13:30～講評会
		16:00 展示終了
		作品返却

〈作品応募について〉

11月30日が締め切り日で、応募校51校、応募点数はそれぞれ、美術・工芸157点、書道72点(共同作品を含む)、写真60点でした。

〈準備段階〉

今年は第21回国民文化祭を山口県が引き受けで「やまぐち発心ときめく文化維新」をテーマに県内各市町村でたくさんの催し物があり、山口市も日本画、洋画の会場となり、私も運営委員として参加させられ、11月の本番まで度々会議等に出席せざるをえなく、校内運営の役割分担もはっきりせず、又、市内各高校との連絡も遅れ、何かと第1回実行委員会も例年より1ヶ月も遅れ7月4日に会議を持ち、大まかな計画を提案して協力をお願いをしました。

また会場を県立美術館(約20数年ぶり)とする事で、使用条件等で打ち合わせ等例年になく大変でした。

目録作成で万全を尽くしたつもりの校正もやはり是正を出したのが悔やまれました。

〈設営段階〉

1月11日(木) 山口地区の高校美術部、書道部、写真部の生徒諸君と、顧問の先生、そして主管校である山口中央高校の先生方にも授業の合間にみて設営と作品受付をして頂きました。

各学校とも三学期最初の週ですし、センター入試を控え、主に1・2年生で作業でしたが、学校ごとに役割分担をして、午後から全員で会場レイアウトをしましたが、作品数が多い美術会場がやはり遅くまで手伝ってもらいました。特に西京高校の生徒さん、金子先生には難しい作業をしてくださり感謝しています。

〈会期中〉

来場者は次のようになりました。

1/12日(金) / 13日(土) / 14日(日)
47人 134人 403人

14日は表彰式・講評会等がありましたので来場者はまずまずであったと思います。12日、13日は広報・宣伝がうまくゆかず思ったより少なく、やはりオープニングセレモニーも宣伝手段として再度検討しても良いかなと感じました。

〈表彰式・講評会〉

14日午後展示一階第2室で表彰式が厳かに行われました。主催者、来賓、主管校教頭、生徒代表の挨拶や紹介に続いて、中島高文連会長より第31回全国高等学校総合文化祭出品候補者(16名)に、表彰状が授与されました。島根大会の参加と成果を期待したいと思います。

表彰式の後、部門別に各会場に移動し、講評会を開きましたが、多くの参加者からの質問もあり好評のうちに終わりました。

〈終了後に〉

主管校として無事終了して思う事は、収支決算が準備と同じ位大変でした。そして私を支えてくださった多くの先生方に感謝し、来年度(宇部地区)も良い大会になりますように反省点を伝えたいと思います。



美術・工芸部門

総出品点数157点中、平面139点、立体18点という構成であった。点数の違いはあれ、それぞれの分野でレベルの高い作品が多く見られたことは、うれしいかぎりである。会湯の山口県立美術館は、しっかりとした設備もあり展示スペースとしては申し分のないものであった。唯今年は例年以上に出品点数が多く、一部二段掛けになったのが惜しまれる。さて、年々この三部門の展示も充実してきているように思われる。特に今年は立体の点数も多くなり、あの広い県立美術館の空間に負けない展示ができたように思う。また、今年全国総文出品候補作品に選ばれた中には、美術科の教員が非常勤でありながら、部活動を好意でみているといったから学校もあり、頭が下がる思いである。唯好意に甘えるのではなく、やはり非常勤ではなく、美術の正教員をできるだけ多く配置できるよう各学校、教育委員会の方々も考えていただきたいという思いである。

(理事長：古賀)

書道部門

書道部門には県内25校より72点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文京都大会への出品候補作品4点を含む優秀賞10点が選ばれました。会場の県立美術館の立派な2階展示室は各校から出品された臨書や創作作品が整然と展示され、落ち着いた中にも高校生らしい滌剤としたエネルギーに包まれていました。

最終日の講評会は、初の県立美術館での開催を記念し、講師に広島県より尾道商業高校の黒川英雄先生をお招きし講評をいただきました。緊張の中にも和やかに進められ、1点1点丁寧で的を射た講評により、参加生徒は明日の作品制作への意欲を感じてくれたものと思います。この、講評会で得た充実感を思う時、あらためて、講評会への参加者がさらに増え、この文化祭をより意義深いものにしたいと強く願っています。

(理事長：有富)

写真部門

今年度は「国民文化祭・やまぐち2006」の開催時期（11月）との重複を避けるため、平成19年1月12日（金）から14日（日）にかけて行われました。

1月11日（木）に、日本報道写真連盟 宇部支部長の前田隆義氏により審査が行われ、平成19年度「第31回全国高等学校総合文化祭写真部門（島根大会）」への出品候補作品5点が選出されました。作品の詳細については、本冊子の「第28回県高総文祭展示部門 優秀作品一覧」をご覧下さい。

今年の出品作を見て、自分の感性をストレートに伝えている、心の内がうまく描写されている、という感想を持ちました。技術的にモノクロの仕上げが不十分なものもありましたが、入賞作品はバランスのいい高レベルなものでした。

今回入選できなかった生徒の皆さんも、印画紙に黒をはっきり出す（コントラストをはっきり）技術、覆い焼きの技術、最適な印画紙の選択、を習得していくれば、来年度はきっと質の高い作品が完成すると思います。デジタル作品も少しづつ出品されるようになり、時代の変化を感じました。

また、予算・設備の面でご苦労されているためか、サイズ的に小型の作品が多い印象を受け、今後は写真部のある学校では、生徒会予算（部費）の増額、暗室の整備、全紙サイズ対応の大型モノクロ引き伸はし機の購入、が必須であるとも感じました。

今年度は国民文化祭の開催年度でもあり、事務局のある山口中央高校を主管校とし、しかも山口県立美術館で実施できたことは、とてもよい思い出になりました。

この大会に際しまして、主管校の角中先生、柴崎先生をはじめ、山口地区の各高校の運営委員の先生方、ならびに補助員生徒の皆さんに大変お世話になりました。感謝申し上げます。

また、最終日の14日には、毎年恒例の写真部会主催の2006年度撮影研修会・コンテストを催しました。晴天のもと、審査委員長、引率教諭を含め、参加者約30名で、県政資料館やその周辺にてポートレート主体で実施し、審査の結果、以下の皆さんの作品が上位入賞しました。

最優秀賞	宇部工業高校	3年	倉本 祐貴
第2位	小野田工業高校	1年	上田 啓介
第3位	宇部工業高校	1年	金井 寿喜
第4位	宇部工業高校	1年	富田 晋
第5位	西京高校	1年	山下 温
第6位	宇部工業高校	3年	早稲田 茂
第7位	下松工業高校	1年	河島 龍興
第8位	宇部工業高校	1年	吉本 聖哉
第9位	下松工業高校	1年	岡村 和典
第10位	西京高校	1年	大谷 摽樹

(理事長 佃)

第28回 県高総文祭展示部門出品校一覧表

	学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真		学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真
1	安下庄	5		2	27	美祢	5		
2	岩国	5			28	大嶺	1		
3	岩国総合	3			29	豊浦	5		
4	柳井	5			30	長府	5	1	
5	光	4			31	下関西	4	4	3
6	光丘	1			32	下関南	5	3	
7	熊毛北			2	33	下関中等教育	5	1	
8	下松		1		34	豊北		4	
9	下松工業			5	35	大津	5		
10	徳山	5	3		36	萩商業	1	2	
11	熊毛南 (上関分校)			7	37	萩商工		2	
12	新南陽	4		10	38	萩工業	1		
13	防府	4	4		39	聾	1		
14	防府西	5	3		40	防府養護	5	3	
15	防府商業	5			41	山口養護	5		
16	山口	5	4	1	42	下関商業	4	4	
17	山口中央	5	4	1	43	高水	1	4	
18	西京	5		10	44	柳井学園		1	3
19	宇部	5	2		45	誠英	5		
20	宇部中央	5	3		46	高川学園		1	
21	宇部西	5	3		47	中村女子		4	
22	宇部商業	4			48	野田学園	5	4	
23	宇部工業		3	10	49	慶進	5		
24	小野田			2	50	萩光塩学院	4	4	
25	小野田工業			4		共同作品等		1	
26	厚狭	5				合計	157	72	60

第28回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧(全国高総文祭候補作品)

美術・工芸部門

高等學校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
光 高 等 学 校	2	宮 本 美 貴	探しもの	◎
防 府 高 等 学 校	1	足 立 陽 子	リハーサル	◎
西 京 高 等 学 校	2	新 谷 希	私がいる	◎
萩 工 業 高 等 学 校	2	金 子 由 香 里	flower garden	◎
下 関 南 高 等 学 校	2	西 田 早 織	ハニートースト	◎
山 口 高 等 学 校	1	岡 齋 聖 藤 友 美 子	溶けていくもの	◎(立体)
岩 国 総 合 高 等 学 校	2	市 村 菜 々 美	ヤスシノタビジ	
徳 山 高 等 学 校	2	共 同 作 品	らぶふみ	
防 府 高 等 学 校	2	岡 原 恵 理	人 物	
山 口 高 等 学 校	2	森 永 真 由 美	疎水のほとり	
山 口 高 等 学 校	2	吉 野 春 佳	My life	
西 京 高 等 学 校	2	二 川 奈 津 美	明日も晴れるかな	
宇 部 高 等 学 校	2	小 田 喜 久 枝	物質W	
宇 部 高 等 学 校	2	岸 美 亜	異質捕捉	
宇 部 高 等 学 校	1	進 士 美 保	微 絶	
宇 部 中 央 高 等 学 校	2	白 石 菜 々 美	春夏秋冬	
宇 部 中 央 高 等 学 校	1	益 田 友 紀	あめときりん	
宇 部 商 業 高 等 学 校	2	江 本 香	魚とバスタブと浜辺	
美 衿 高 等 学 校	3	磯 村 はるな	眼 光	
美 衿 高 等 学 校	1	井 上 達 也	く つ	
豊 浦 高 等 学 校	2	川 崎 理	天干地支～被刻的時候～	
豊 浦 高 等 学 校	1	藤 井 あ ゆ み	アソボ？	
長 府 高 等 学 校	2	津 久 真 紗 美	扉のむこうに	
長 府 高 等 学 校	2	竹 永 倫 子	花蝶風月	
長 府 高 等 学 校	1	津 森 み す ず	最後の必修科目	
下 関 南 高 等 学 校	2	中 井 智 菜	静寂。	
萩 商 業 高 等 学 校	2	中 野 優 子	バタフライ	
下 関 西 高 等 学 校	3	清 重 沙 織	食糧問題	
下 関 中 等 教 育 学 校	2	備 前 逸 美	smoothly～なめらかに～	
誠 英 高 等 学 校	3	大 村 志 帆	思い出	

書道部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
防府高等学校	2	植田 隆博	臨 争坐位稿	◎
長府高等学校	2	植村 安紀	臨 九成宮醴泉銘	◎
下関南高等学校	2	梶谷 真未	花風月雪	◎
下関中等教育学校	2	堀江 瞳	臨 乙瑛碑	◎
防府高等学校	2	末富 詩織	臨 黄州寒食詩卷跋	
防府西高等学校	3	玉見 祐美子	詩文書	
萩商業高等学校	3	長田 裕里絵	臨 蘭亭序	
下関商業高等学校	2	西山 佳菜子	臨 孔子廟堂碑	
高水高等学校	1	沖村 翔太	心	
高川学園高等学校	3	有富 遼介	臨 伊都内親王願文	

写真部門

高等學校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
宇部工業高等学校	1	藤川 太志	「歓喜」	◎
宇部工業高等学校	1	金井 寿喜	「マキバオーフト場王」	◎
小野田工業高等学校	1	上田 啓介	「先輩を訪問」	◎
新南陽高等学校	2	藤田 咲	「喧騒の狭間で」	◎
西京高等学校	2	藤井 蛍	「笑顔日和」	◎
小野田高等学校	1	中村 有紀	「未来に続くふるさと便」	

※第31回全国高総文祭（島根大会）候補作品は、上記の美術・工芸6点、書道4点、写真5点

囲碁部門

会場：周南市総合スポーツセンター

理事長 広瀬泰夫
(徳山商工高等学校教諭)

第28回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門・第18回大会兼第30回全国高等学校文化連盟囲碁部門第20回大会県予選は10月22日（日）、周南市総合スポーツセンターで開催されました。参加校は昨年より2校多い15校でしたが、参加者数は60名でやや減少しました。今年は競技方法を変え、全国大会代表・中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦に分けて戦ってもらいました。それぞれ募集したところ、男子代表決定戦には16名、女子代表決定戦には8名、段級位認定戦（男女混合）には36名の参加がありました。試合の進行はすべてスイス方式に従い、男子代表決定戦は4回戦、女子代表決定戦は3回戦、段級位認定戦は4回戦を戦ってもらいました。

大会の成績は以下の通りです。

〈団体男子〉 優勝 下関工業高等学校
準優勝 山口高校

〈団体女子〉 優勝 防府商業高等学校
準優勝 宇部高等学校

〈個人男子〉

優勝	下関工業高等学校	藤本 裕樹
2位	山口高校	波多野貴紀
3位	徳山高校	木村 悠

〈個人女子〉

優勝	防府商業高等学校	赤木 香菜
2位	宇部高校	三井 聰子

個人男子3位までと個人女子2位までは来年度8月1日・2日に島根で開催される全国大会に出場できます。

また、男女の団体優勝校と団体出場者を除く個人男子6位まで、個人女子3位までは本年度12月25・26日に島根で開催された中国囲碁選手権に出場しました。

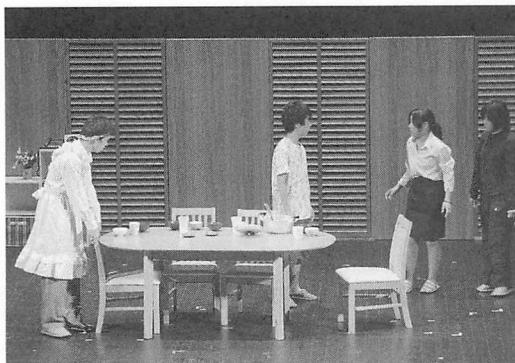


演劇部門

会場：山口情報芸術センター

理事長 村岡 圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



県大会出場の予選となる地区大会は周防・山防・宇部・下関の4地区で8月の下旬に行われました。各地区とも昨年よりは観客動員があったように聞いています。(上演校数も維持できたり、良かった…(^o^)／)生徒・先生ともにお疲れさまでした。ありがとうございました。

加盟校数が30校から29校に減少しました。そして、中国大会常連の華陵高校が属する地区も来年度は2校が廃部予定で地区大会を開催することが困難になりました。4地区での地区大会は今年が最後かも知れません。寂しくなります。

県大会は昨年3校上演につき1校という規定改正をしましたが、上演校数を3で割り算して四捨五入という方法にまたまた改正しました。そのおかげで、何とか昨年と同数の9校による県大会を開催することが出来ました。

県大会は10月28日(土)・29日(日)に山口情報芸術センター(YCAM)で行いました。舞台は黒く、緞帳は暗軒幕で雰囲気がある所です。座席数は450席ですが、ステージは広く何不自由なく上演することが出来ます。会場はプロ使用の舞台で制約がほとんどなく、使いやすかったと思います。しかし、日頃使っている体育館風のステージと違い、本格的すぎてかえって使いづらいということがあったようです。今後、照明のコンピュータ化も進んできますので、生徒だけでなく顧問も最新の会館事情を把握し、技術を身につけていかなければと思いました。

ちなみに、来年度の中国大会を開催する場所です。座席数が例年の中国大会会場より少ない

ので立ち見が出るかもしれません。その分、会場が観客の熱気に包まれればと期待します。

尚、山口県大会ではここ数年(2000年から)生徒審査委員会を実施してきました。最終日の交流会の中で、生徒が個人賞や団体賞を発表します。審査員の生徒達は討論や批評を繰り返して、独自の視点で賞を決めます。生徒分の旅費など問題はありますが、県内の先生方の協力によりここまで続けてこられたので、これからも実施していきたいと思います。

第28回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

第25回山口県高等学校演劇大会

上演一覧(上演順)

学校名	作品名	作者名
山口鴻城	春夏秋冬	渚 太陽
宇 部	七人の部長	越智 優
岩国総合	変身・へんしん・Hæ～jin	香川 健太
長 府	summer～夏の扉～	オオウチミホ
防 府	お願いだから止めないで	樂 静
西	ひぐらし	演劇部
宇部中央	あのね	雅陵鳳雛
華 陵	ギャルガー	古城十忍
下関商業	Letters	木川田敏晴
防府商業		

<講師・審査員>

篠崎光正(桐朋学園大学短期大学教授)

山口武信(劇作家)

浴本 昇(岩国高等学校)

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

11月11日（土）にニューメディアプラザ山口にて開催。朗読部門は30名、アナウンス部門は22名、番組部門はオーディオピクチャー部門4作品、ビデオメッセージ部門3作品の参加がありました。参加校は全部で12校でした。

午前中は朗読部門・アナウンス部門、午後は番組部門の発表です。今まで朗読・アナウンスの審査員は一人でしたが、今回から民放三社から一人ずつの三人で審査していただくことになりました。今年は山口放送の中谷隆宏アナウンサー、テレビ山口の小山一英アナウンサー、山口朝日放送の田中寿江アナウンサーという顔ぶれです。番組部門は昨年と同じく、山口放送の久保和成さんに審査していただきました。

閉会式では中谷アナウンサーから一人ずつの発表について、久保さんから一つ一つの作品について講評がありました。また、閉会式の後では全国大会に推薦された生徒だけでなく、誰でも三人のアナウンサーから個人的に指導してもらえる機会があり、三人の前には長蛇の列ができました。アナウンサーの方々はどの方も指導に意欲的で、時間延長にもかかわらず熱心に指導してくださいました。実は中谷アナウンサーも小山アナウンサーも高校時代に放送部員として全国で戦った経験の持ち主で、放送部に対する思い入れも深いものがあるようです。放送部出身で放送の現場で活躍している先輩がいるということは心強いものがあります。

審査結果は以下の通りです。

◎アナウンス部門／

最優秀賞	徳山高校	藤本美智子
優秀賞	徳山高校	神出江美
	岩国高校	二宮由佳里
入賞	高水高校	幸田祐佳
	岩国高校	下手彩加
	山口農業高校	奥村文綾

◎朗読部門／

最優秀賞	熊毛南高校	安達亜美
優秀賞	岩国総合高校	米田光里
	山口高校	岡村奈美
入賞	徳山高校	道岡美波
	光高校	窪田美穂子
	岩国総合高校	白石恵子

◎オーディオピクチャー部門／

最優秀校	岩国総合高校
------	--------

「おさん狐はいま……」

◎ビデオメッセージ部門／

最優秀校	徳山高校	「三作神楽」
------	------	--------

各部門の最優秀賞・優秀賞は来年8月に島根県で開催される全国大会に出場します。



将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理 事 長 岡 茂 樹
(防府高等学校教諭)

第28回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門大会兼ねて、5月27日（土）28日（日）の2日間開催されました。開会式には山口県高文連将棋専門部会長の豊田和典先生、山口県教育庁高校教育課の杉原宏之先生、事務局の角中悦太郎先生をお迎えしました。初日に団体戦、翌日個人戦の2日間開催も定着し、参加生徒も増え続け、延べ150人以上のたいへん盛り上がった大会になりました。

団体戦には21チームが参加し、四ブロックに分け総当たりのリーグ戦を行いました。各組1位が決勝トーナメントに進出します。ベスト4に残ったのは防府B、宇部工業B、宇部A、防府Aでした。予選リーグでまさかの防府Dに敗れた宇部Aでしたが、決勝トーナメントでは防府A、防府Bと接戦を制し、男子団体戦9連覇の偉業を成し遂げました。

男子個人戦は79人のトーナメント戦を行いました。3回戦までは20分切れ負け制、4回戦から30秒の秒読みがつきます。決勝戦は武石君（防府）と松本君（防府西）の対戦になりました。前評判は高くなかった武石君ですが、優勝候補の中村君（新南陽）を破った勢いのまま、最後は見事な即詰で嬉しい初優勝を飾りました。

松本君は一昨年に続いて悔しい二回目の準優勝でした。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局を行いました。

女子個人戦は2人のみの参加で、さみしい人数でした。団体戦でも防府Bの大将として活躍した横田さん（防府）が、初優勝しました。

〈団体戦〉 21チーム

- | | |
|-----------|------------------------|
| 第1位 宇部高校A | (川口真弘・山本真一郎・香具直希・大下哲史) |
| 第2位 防府高校B | (横田仁美・牧勇太・原田康貴) |
| 第3位 防府高校A | (武石啓成・山本遼司・合力輝一) |

〈男子個人戦〉 79人

- | | |
|----------|------------|
| 第1位 武石啓成 | (防府高校) |
| 第2位 松本幸士 | (防府西高校) |
| 第3位 高井裕史 | (柳井高校) |
| 第3位 熊谷安剛 | (岩国工業高校) |
| 敢闘賞 関本賢一 | (下関中央工業高校) |
| 西村隆宏 | (防府高校) |

〈女子個人戦〉 2人

- | | |
|-----------|--------|
| 第1位 横田仁美 | (防府高校) |
| 第2位 石田ともみ | (徳山高校) |

団体戦と男女個人戦の優勝者、女子個人戦の準優勝者は京都府で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。



文芸部門

会場：周南市新南陽ふれあいセンター

理事長 國嶋洋治

(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門大会は、10月21日（土）に新南陽ふれあいセンターを会場として開催しました。

大会に先立って、第4回文芸コンクールを行い、17校129作品の応募作品の中から相互審査で次の作品が入賞しました。

〈最優秀 小説部門〉

山口高等学校 2年 宮田 晃志
「うそつきなキツネ」

徳山高等学校 2年 小池 福美
「あなたの左耳より脳に直接申し上げれば」

〈最優秀 詩部門〉

西京高等学校 1年 伊原 真希
「道化師」

〈最優秀 短歌・俳句部門〉

下関南高等学校 1年 細森 郁美
短歌「無題」

〈入選〉

防府高等学校 1年 村田 博美
小説「天命の花」

西京高等学校 2年 藤井 咲
小説「Still Waters run deep」

西京高等学校 2年 竹下 七海
小説「依頼アラバ人殺シマス」

徳山高等学校 2年 小池 福美
詩「玉虫ソング」

宇部商業高等学校 2年 畑 和沙
小説「もろともに」

下関商業高等学校 2年 沖本 優美
小説「契約」

山口高等学校 2年 宮田 晃志
詩「ぞうきんハート」

柳井高等学校 2年 松浦 目委
小説「ヒコウ×ショウネン」

防府西高等学校 2年 田中 沙和
小説「八百屋の大根」

防府商業高等学校 2年 松野 佑子
詩「うたたね」

下関南高等学校 2年 田中 佐和音
小説「海と『記憶』」

徳山高等学校 2年 三宅 里佳
小説「あの人人が英雄だったころ」

〈学校特別賞 団体〉

徳山高等学校 山口高等学校
西京高等学校

〈平成19年度第31回全国高等学校総合文化祭
(島根大会) 推薦者〉

各部門最優秀受賞者 4名

〈平成19年度第9回高校生文芸道場中国大会
(山口大会) 推薦校〉

徳山高等学校 山口高等学校

部門大会当日は、12校55名の参加がありました。午前中は山口県歌人協会 会長音羽晃氏に“短歌は『『われ』のメール』”という演題で講演していただきました。

午後は、文芸誌、詩、短歌の三分科会に分かれて、各分会においては、文芸誌・中村仁之氏、詩・秋吉康氏、短歌・音羽晃氏/森元輝彦氏の4講師を招聘し、ワークショップ的指導を行い、生徒達の創作意欲に拍車をかけました。短い時間でしたが、参加者の積極的な創作活動のおかげで充実した時を過ごせたように思います。

文芸部門も早いもので発足して4年目を迎え、19年度は11月に2度目の高校生文芸道場中国大会(山口大会)を開催いたします。今後もより多くの高校生に参加して貰えるような文芸部活動を目指していきます。

運営面での力量を養うこととも、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。



第30回全国高等学校総合文化祭の記録

咲き誇れ 京ここから 翱びたとう 未来に向かって

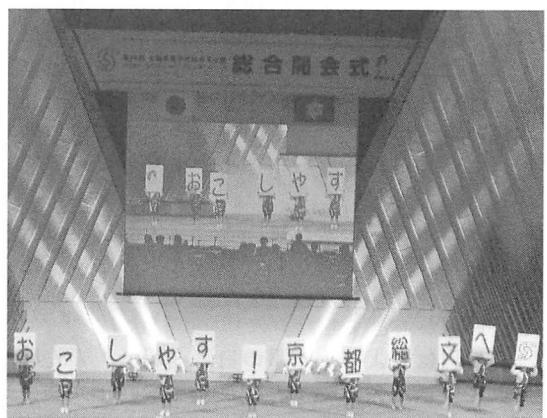
全国高総文祭（京都大会）参加校一覧

部 門	高等 学 校	参加生徒数	出品点数	備 考（演奏曲目・作品等）
パレード		0		
演 戯		0		
合 唱	野 田 学 園	50		Cantemus ! Patkōēknāl
吹 奏 楽	県立防府西	85		歌劇「ヘンゼルとグーテル」より 西高マーチ
器楽管弦楽	県立山口中央	75		歌劇「リエンツイ」序曲
日本音楽	県立岩国	9		演目「二面の箏の為の麗韻」
マーチングバンド	山 口 県 鴻 城	70		The phantom of The Opera
バントワーリング		0		
美術・工芸	県立岩国	1	1	絵画「ほうさく稻次郎」田中直子(3)
	県立山口	1	1	版画「万提灯夜半」清水麻紀子(3)
	県立宇部	1	1	絵画「深海魚」高濱真鈴(3)
	県立豊浦	1	1	絵画「金欲」坂之上正久(3)
	県立聾	1	1	工芸「不思議な手」森廣 隆(2)
	下関商業	1	1	絵画「a once in a lifetime chance」鹿内由季菜(3)
書 道	県立防府	1	1	漢字「臨 李嶠雜詠」岡田典子(3)
	高 水	1	1	漢字「臨 鄭羲下碑」山本菜穂子(3)
	高川学園	1	1	漢字「臨 孫秋生造像記」有富遼介(3)
	中村女子	1	1	漢字「臨 争坐位稿」藤田麻依子(3)
写 真	県立下松工業	1	1	単写真「岩礁の鵜」大嶋 龍(3)
	県立山口	0	1	単写真「斜陽」森永真由美(2)
	県立西京	1	1	単写真「勝利を祈って」松本紗央里(3)
	県立宇部工業	1	1	単写真「列車内」倉本祐貴(3)
	県立小野田工業	1	1	単写真「封印」藤井裕弥(2)
放 送	県立熊毛南	2		アナウンス 郷野寛乃(3) 朗読 増岡千晴(3)
	県立徳山	6	1	アナウンス 藤本美智子(2) 朗読 田中亜矢巳(3) ビデオメッセージ「御神籤」
	県立山口	2	1	アナウンス 池畠美樹子(3) 朗読 浅谷結花(3) オーディオピクチャー「ちょっと一言よろしいかしら？」
囲碁	県立徳山	1		個人戦（男子）木村 悠(2)
	県立防府	1		個人戦（女子）横田仁美(3)
	県立宇部	1		団体戦（男女混合）本郷香織(2)
	県立下関西	1		団体戦（男女混合）安藤裕介(2)
	県立徳山工業	1		団体戦（男女混合）伊藤大地(3)
将 棋	県立宇部	3		団体戦（男子）川口真弘(3) 香具直希(1) 山本真一郎(3)
	県立防府	1(1)		個人戦（男子）武石啓成(3) 個人戦（女子）横田仁美(3)
	県立徳山	1		個人戦（女子）石田ともみ(2)
文 芸	県立山口中央	1		短歌 竹中 梢(3)
	県立山 口	1		詩 藤原佳絵(2)
	県立下松	1		文芸誌 藤井 唯(3)
	県立防府	(1)		散文 横田仁美(3)
総合開会式	県立宇部	(1)		高濱真鈴(3)
合	計	参加生徒数	326名	

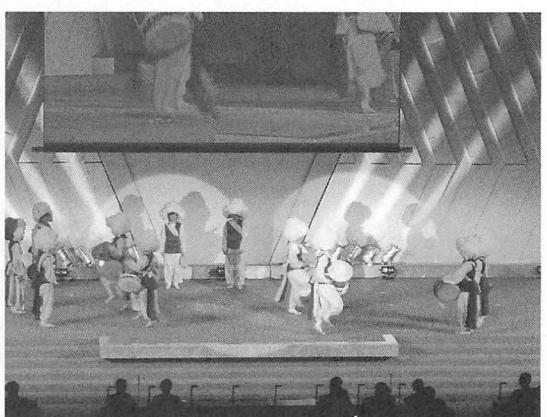


▲式典

▼フィナーレ



▲市街パレード



▲国際交流

器楽・管弦楽部門

会場：京都会館

山口中央高等学校 3年 児玉恵美

私たち山口中央高校管弦楽部は、8月2日～4日、京都市で行われた「全国高等学校総合文化祭京都大会 器楽・管弦楽部門」に出場しました。

1日目、京都駅を出てまず私達を出迎えてくれたのは、カンカン照りの太陽と蒸し暑さ。京都の夏の暑さは、私達の想像をはるかに超えるものでした。その後清水寺を訪れ、よい演奏ができるよう、また3年生は特に受験でいい成果があげられるようお願いをしました。貸し切りバスの車窓からたくさんの寺院や鴨川を目の当たりにして、はるばる京都まで来たという実感がわきました。

この日のリハーサルは同志社女子高校の冷房の効いた食堂をお借りし、教頭先生を始め生徒の皆さんとの親切な接待のおかげで、とても充実した練習ができました。

2日目はいよいよ本番の日。会場は、平安神宮近くの京都会館です。校長先生や昨年共演させていただいた関西フィルハーモニー管弦楽団の方々、20年前のALTの先生、卒業生などたくさんの方が応援に来てくださいました。会場が

手狭でリハーサル室に困っていたところを、岩手県合同オーケストラの先生が急遽場所を都合してくださるなど、たくさんの方々のお世話になりました。私達の出番は午後だったので、午前中は他の団体の演奏を聴きました。やはり全国大会だけにレベルが高く、たくさん学ぶところがありました。

そして午後、いよいよ私達の出番です。ステージ袖で待機しているときは、不安と緊張がピークに達していました。でもステージに上がり演奏が始まると、落ち着いて、普段通りの「平常心」で演奏できたと思います。そして、演奏終了と同時に鳴り止まない拍手。全国大会の舞台で演奏できた喜びと感動で、胸がいっぱいになりました。この大会を通してたくさんの貴重な体験ができ、大変嬉しく思います。

今回こうして全国大会に出場できたのも、日頃の角中先生をはじめ講師の方々のご指導、部員の努力、そしてたくさんの方々の支えがあってこそだと思います。これからも一層練習に励み、私たちらしい音楽を目指していきます。

最後になりましたが、参加にあたりご協力いただいた各方面の皆様方にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



▲山口中央高等学校

合唱部門

会場：京都コンサートホール

野田学園高等学校

合唱部

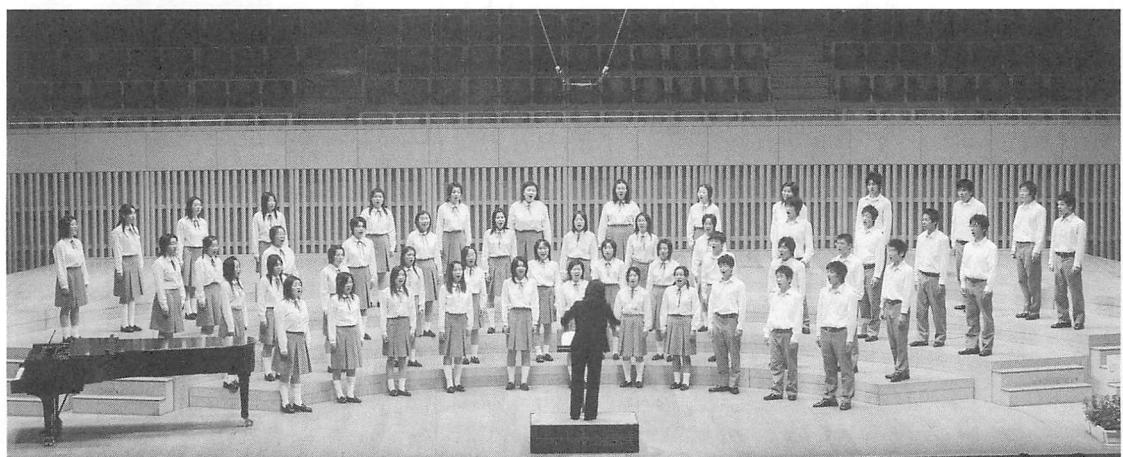
私たちは、8月2日から4日間に渡って京都で行われた、全国高等学校総合文化祭に出場しました。

県の総合文化祭には毎年参加していますが、現在の部員全員が全国高等学校総合文化祭には初参加でした。私たちは、一つでも多くの舞台で、少しでも多くの人に演奏を聴いて貰いたいと思っていたので、このお話を頂いた時、とても嬉しかったのを覚えています。

会場となった京都コンサートホールは、素晴らしいホールでした。私たちは、その様な大きな会場で演奏したことが無かったので、とても緊張していましたが、とても貴重な経験になりました。

また、全国各地から参加した高校生の熱演も聴け、改めて合唱の素晴らしさに気付く事が出来、少し成長する事が出来たように感じます。

今後も、この経験を生かし、頑張っていきたいと思います。



▲野田学園高等学校

吹奏楽部門

会場：舞鶴市総合文化会館

防府西高等学校吹奏楽部

「広報」原麗奈

2006年8月3日に行われた全国高校総合文化祭。全国から沢山の高校生が集うこのすばらしい祭典に、私達防府西高校吹奏楽部は、山口県代表として出場しました。

他校の演奏を鑑賞するため会場に入ってまず驚いたのが、ホールの広さでした。山口県には無い広さで、私は大きな感動を覚えました。そして、さらに驚いたのは、人の多さでした。席を探すのにも一苦労で、これだけの高校生が全国から集まっているのだと思うと、とてもわくわくしました。

いよいよ私たちの本番が近づいてきました。手作りの衣装や大道具などを入念にチェックしながら、あれだけ多くの人々の前で演奏するということに緊張を感じました。それでも、私の心中には、自分達のステージを多くの人に見てもらえるのだという高揚感でいっぱいでした。

本番直前、音出しをする私達のもとへ岩国商業高等学校吹奏楽部顧問の藤本博途先生が応援

に駆けつけてくださいましたし、現地でお世話をされている先生方やボランティアのスタッフの方々も本当に暖かい手助けを下さったので、大変心強い気持ちでステージへ上がるることができました。

肝心の演奏ですが、会場からの沢山の拍手に迎えられ、日ごろの練習成果を存分に出すことができたと思います。演奏後の写真撮影も、みんなとても清々しい笑顔で、とても楽しい気分だったことを、よく覚えています。

この全国高等学校総合文化祭では、吹奏楽コンクールでは聴くことのできない一味もふた味も違った演奏を聴いたり、他県の人達と交流したりと、普通の活動では得られない沢山の貴重な体験をすることができました。もちろん、全てがうまくいったという訳ではなく、衣装や大道具などの製作過程、当日の人の動きや演奏など、反省すべき点は沢山ありますが、今回の参加で感じた他校の良いところを全て吸収し、これから活動を発展させていく糧にしたいと思います。



▲防府西高等学校

マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：京都府立山城総合運動公園体育館

顧問 縄田道孝

(山口県鴻城高等学校教諭)

平成18年8月3日（木）早朝、山口県鴻城高等学校吹奏楽部総勢62名は、重い足どりで新山口駅を出発しました。というのも8月4日には、京都でのマーチングの本番があり、さらに翌日には、全日本吹奏楽コンクール山口県大会高等学校A部門があるために、とんぼ返りをする上に両方とも仕上がりに不安があったためです。

京都に到着すると、蒸しぶろにでも入ったような暑さに加え本番会場が宇治市ということで、またバスに1時間ゆられて、体力をすいとられる状況でした。宇治の平等院鳳凰堂の看板を見ながらうしろ髪を引かれる思いで会場入りしました。素晴らしい会場でしたが、リハーサル会場がかなり離れていて、たった数分のリハーサルをするために、バスで移動しなければならず、

大変苦労しました。史上最高の参加団体がありレベルの高い学校を目の当たりに見てとても刺激になりました。本番では失敗もありましたが全員でショーを作りあげることができ、満員の会場から温かい拍手をいただくことができました。私たちの宿泊しているホテルでは、ジャーイジで食事をしてはいけないので正装でといわれるハプニングもあり、また清水寺を30分で走って見学するという超ハードスケジュールではありましたが、非常に有意義な思い出に残る大会でした。

最後に、参加にあたり大変御世話になりました山口県高等学校文化連盟事務局に厚く御礼申し上げます。



▲山口県鴻城高等学校

日本音楽部門

会場：京都府長岡京記念文化会館

岩国高等学校 琴部部長
2年 中村 友香

私たち岩国高校の琴部は山口県代表として、「第30回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門」に出場しました。京都までバスでの移動だったので、着くまでに何時間もかかりました。最初は全く緊張などなかったのですが、京都が近づくにつれて不安になっていきました。みんな上手に弾けるだろうか……。間違えずに弾けるかどうか、不安な気持ちでいっぱいだったと思います。

会場は、長岡京市でした。肌に刺し込むような暑さと頭に響くような蝉の声をよそに、涼しい会場では華やかに開会式が行われ、プログラム1番は京都府合同演奏でした。「京響」という50人ほどの演奏で、とても迫力がありました。

初日は、他校の演奏をずっと聞きました。驚いたのは、どの学校もとても迫力があり、体全体を使って意気の合った演奏をしていたことです。自分達の演奏とは、全く違いました。他校は人数の面でも圧倒されるほどで、数が多い分大きな音が出ていて、さすがに全国のレベルは高いなあと思いました。しかも間違った音が一つも聞こえず、とても美しい演奏だったので、自分達が演奏者であることも忘れ、聞き入ってしまいました。

夜からは、リハーサルです。1日他校のすばらしい演奏を聞いて逃げ出したくなる気持ちを切り替え、頑張りました。ステージでの演奏は今までの学校での練習と比べ、自分の音しか聞こえない感じで、とても弾きづらいと思いました。そのせいか、リハーサルでは何回か間違えてしまいました。でも本番の日も少し練習時間



があるので、焦らず力を出しきろうと思いました。

本番当日は、午前中何校かの演奏を聞いて、やっと私たちの本番でした。ステージに出ると明かりはついておらず、真っ暗でした。そして明かりがついた途端、会場を埋めつくした観客がすべて見えてしまい、心臓がバクバクしました。演奏が始まても、まだ落ち着かない感じがしました。今まで一番いい演奏をしたいと思っていたけれど、何回か間違えてしまい、リズムも少し速くなっていたような気がします。周りに合わせ、一つ一つ丁寧に弾き、とにかく最後まで演奏しきるようにと、一生懸命でした。そして私たちの演奏は、終わりました。礼をした後の観客の大きな拍手が、何よりうれしく、これを書いている今でも、その音が心の中によみがえってきます。

結果はまずましたが、この大会でいろいろな学校のハイレベルな演奏を聞くことができたのは、大きな収穫でした。これからもっと迫力のある、そしてもっと美しい音色が出せるよう、練習を積んでいきたいと思います。

美術・工芸部門

会場：京都市勧業館

理事長 古賀 隆光
(宇部高等学校教諭)

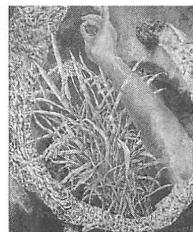
今回、全国総文祭京都大会に参加した6名のみなさんから、感想をいただいています。全国の作品が集う中、それらの作品群を前にし、動かされた心の模様を伝えます。

出品作品『ほうさく稻次郎』絵画

岩国高等学校

3年 田中 直子

いろいろな今と昔が混ざり合っている京都は、本当に興味を引かれる土地だった。全国の自分の作品に向かっている高校生を見て親近感を持った。どの作品にも「自分」が出ており、作者は知らないはずなのに、人間性がうかがえる作品ばかりだった。この体験は高校生の時にしかできない体験だと思う。この体験を大切にして、私は自分の道を行きたい。



出品作品『不思議な手』焼物

聾学校 2年 森 広隆

長時間、千住博先生の講演を聴きました。二人の手話通訳者に3時間近くずっと通訳してもらいました。そのお陰で最初難しいと思ったお話を、よく分かりました。本当にありがたい気持ちでした。僕としては初めての体験でした。

2日の交流会、ワークショップでは僕がアピールするのは難しかったです。頑張って作品の説明をしましたが、本当に大変でした。

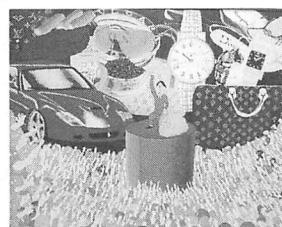


出品作品『金欲』絵画

豊浦高等学校

3年 坂之上正久

とても広い展示会場の中は、全国各地の高校から来た美術部の生徒と先生、保護者、高文連の関係者、市民の方々が集まり凄まじい熱気に包まれていました。そしてそこには各



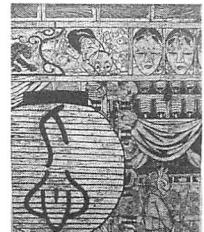
都道府県を代表する高レベルな美術作品が並べられており、僕の作品がその中に仲間入りできた事はとても光栄でした。僕はこの経験を活かし、誇りを持って芸術の道を歩んで行きたいと思いました。

出品作品『万提灯夜半』版画

山口高等学校

3年 清水麻紀子

全国から選ばれた作品はどれも迫力があり、見ごたえのあるものばかりでした。芸術面でも歴史の深い京都という場所で、他県の人と交流ができたことは、これから創作において大切なものが得られたと思います。強い個性と様々な価値観を作品から学ぶことができたと感じています。



出品作品『深海魚』絵画

宇部高等学校

3年 高濱 真鈴

展示会場にある作品はどれもすばらしく、本当に高校生が……? と感じ、自分の力不足にショックを受けましたが、作品に負けず劣らずの個性豊かな高校生達に出会えて良かったです。自分と同じ志をもつ人と話す機会もあまりなかった分、大会での経験は本当に貴重で、人と作品を通してつながっていく楽しさを感じることができ、描き続けたいと強く思いました。



出品作品『一期一会』絵画

下関商業高等学校

3年 鹿内由季菜

全国総文祭へ行って抱いた感情は、悔しいという感情でした。自分なりに完成と思い出した作品が周りの絵を見ることで、まだまだ作品に手を加えるべきであったと後悔しました。自分から見て全国はレベルが違って見えました。



この後悔と悔しさをしっかりと心に刻み、全国のレベルにまずは追いつくようにしっかりと絵を描きたい、と強く思いました。

書道部門

会場：京都市勧業館

理事長 有富由美
(防府高等学校教諭)

書道部門は全国展を柱に、交流会、講評会が行われました。交流会は、グループごとに風鈴につける葉を作成しました。講評会は、全高書研理事長の中村好男先生を講師に招いて行されました。数点の作品をピックアップし、その作品について様々な角度から丁寧に分析されました。山口県では高川学園高校の有富君の作品について講評され、作品の鑑賞眼を高める貴重な時間となりました。全国展には山口県よりこの4作品を出品しました。それぞれの作者の感想とともにここに紹介します。

防府高等学校

岡田 典子

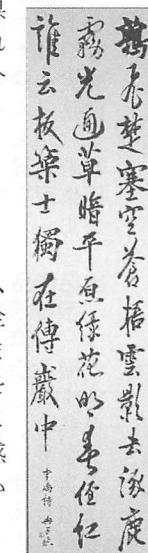
『臨李嶠雜詠』

書道部として全国高総文祭に参加し、貴重な体験ができました。総文では全国からあまりの作品の多さに驚き、また自分と同じ高校生が堂々と“自分”を表現していることに感動しました。この度お世話になった方々には本当に感謝しています。今後もこの経験を生かして頑張っていこうと思います。

高水高等学校 山本菜穂子

『臨 鄭羲下碑』

一度にあれだけたくさんの高校生の作品を見るという機会は今までになかったのでとてもいい経験になった。どの作品も完成度の高い作品ばかりなのに驚いた。特に創作に驚いた。私は創作をあまりしたことがないので、布に書くなど様々な工夫をされた作品が印象深かった。全国大会は私にとって驚きの連続であるとともにとてもいい経験となったことは確かである。この経験が今後に生かせていくべきだと思う。



高川学園高等学校 有富 遼介

『臨 孫秋生造像記』

(「特別賞」受賞作品)

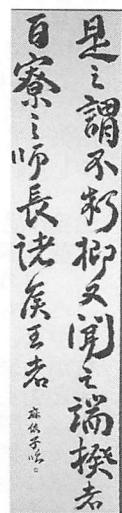
書道の全国大会とはどんなものか、それは実際に行ったものでしかわからない迫力があった。そういう意味で今年京都まで行き直接全国の作品を見ることができ、何よりの収穫だった。作品の多さは勿論、同じ高校生が書いたとは思えないほどのレベルの高さに圧倒された。この夏の貴重な経験を、ぜひ今後の自分に生かしていきたいと思う。



中村女子高等学校 藤田麻依子

『臨 爭坐位稿』

去る8月の夏休み、京都で行われた全国高校総文書道部門に作品を出品し、参加しました。展示会場「みやこメッセ」で、全国350点の優秀な作品を見て、全国のレベルの高さを実感しました。そして、まだ書いたことのない書体にも挑戦したいという気持ちになりました。交流会では、山口から持参した小作品を交換し、その場で風鈴をつくりました。来年も出場できるように後輩たちに頑張ってもらいたいです。



写真部門

会場：京都文化博物館

西京高等学校

3年 松本紗央里

「今年の夏、一番の暑さです。」と報じられたその日、私は山口県の代表として京都の土を踏みしめました。一昨年の11月、高校2年の時にいただいた全国大会出場のキップ。高校最後の年に3年間で最も貴重な経験をさせていただきました。

2005年7月、わたしたち西京生は、球場のスタンドにいました。例年どおり野球応援のために生徒たちはマウンドの選手たちをメガホン片手に応援しました。そして、わたしたち写真部も、光り輝く選手たちや応援団の姿を写真におさめるために、カメラを構えました。

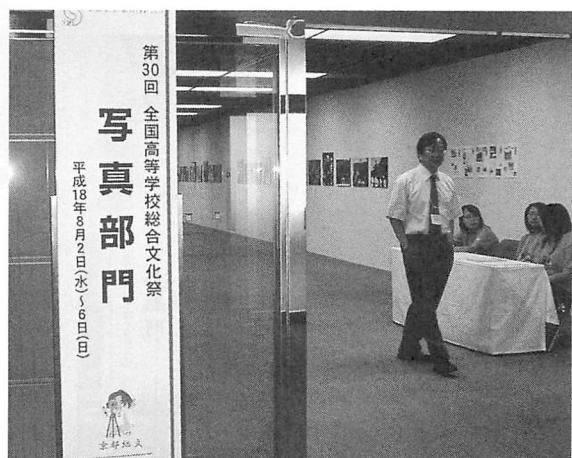
あの暑い夏の日に撮ったあの写真が、全国大会出品作品に選ばれるとは思いもしませんでした。あこがれた部の先輩も出場した全国大会。その大会に自分も出場できるのだと思うだけで、本当にうれしかったです。

胸躍る中、京都へ到着。私と同じく、各地で賞を受けた高校生とその作品が、ぞくぞくとそろい、その味わったことない雰囲気に妙な緊張感を感じたことを覚えています。「私、本当に全国大会に来たんだあ」とそこで初めて実感することができました。

地元の高校生たちの企画・運営で行われた交流会。一班10名ほどで、その中で写真を交換し、クイズに答えたりと、とても楽しい時間でした。また、当たり前のことではありますが、同じ班

に山口県出身の子は一人もいません。私の班には群馬県代表の子や沖縄県代表の子、そして、各班には1名ずつ韓国の高校生も入っていました。お互いに覚えたばかりの片言の英語で一生懸命交流しました。そうした中で、会話はずみ、写真のことだけではなく、自分の高校や地元の話をしながら、お互いの文化にも触れることができました。

亡くなった祖父のカメラを受け継いで始めた“写真”。そのカメラを片手に写真部に入部し、全国大会にまで出場させていただいて、本当に自分は幸せ者だと感じました。全国では賞には入ることができず、私の写真を選んで下さった方には申し訝ない気持ちでいっぱいですが、賞をいただいたことよりも、もっともっと価値のある貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。



囲碁部門

会場：パルスプラザ

防府高等学校

3年 横田 仁美

京都で開催された第30回全国総合文化祭に出場してきました。今年は3部門（将棋、文芸、囲碁）に参加したため、8月1日～6日までの長期滞在となりました。囲碁は5日、6日と日程最後の方でしたが、疲れはほとんどなく、また同会場すでに将棋が開催されていたため、緊張することもなく、良いコンディションで試合に臨むことができました。

一番印象に残っていることは東京代表尹智さんとの対局です。彼女は昨年度の優勝者であり、とても強いという話だったので実は一番当たり

たくない相手でした。それでも、精一杯対局に臨んだのですが、私の手はことごとく冷静に対処され、大敗しました。自分の未熟さを痛感しました。まだまだ頑張らなければなりません。尹さんは今年も優勝しました。

6回戦が終わり、結果5勝1敗で私は3位でした。"去年よりは上を"という目標は達成できましたが、内容などは課題が残ります。

私は今年で卒業です。しかし、"また来年"。今度は大学生の大会を目指したいと思います。囲碁によって得ることのできた高校生大会での思い出や友情を大切にして、これからも囲碁を続けていきたいと思います。



放送部門

会場：国立京都国際会館

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

「京都は暑い」と覚悟はしていましたが、本当に酷暑でした。一步外に出ると溶けてしまいそうなぐらい暑かったです。日中は38~39度ぐらいあったのではないでどうか。夜でもアスファルトから熱気が立ち上ってくるような感じでなにやら息苦しいぐらいでした。「声」というのは大変デリケートなものなので、この暑さでの体調管理はどこも気を遣ったことでしょう。昨年の涼しい青森に着いた時の安堵感とは大違います。せっかく京都に来たというのに、あまりの暑さに会場とホテルの往復だけでした。

放送部門の会場は洛北宝ヶ池の京都国際会議場です。開会式・番組部門・閉会式の会場であるメインホールはまさに京都議定書の締結された会場で、生徒は「教科書と一緒にだ。」と言って感激しておりました。確かにニュースなどで何度も見たことのある場所でした。

アナウンス・朗読部門の審査員の一人に今年は京都出身のアナウンサー鈴木史郎さんがいらっしゃいました。何でも幼少の頃、会場近くにある遊泳禁止の宝ヶ池を泳いで遊泳禁止であることを納得したとおっしゃっていました。

何食わぬ顔をしてなかなかのユーモアの持ち主です。

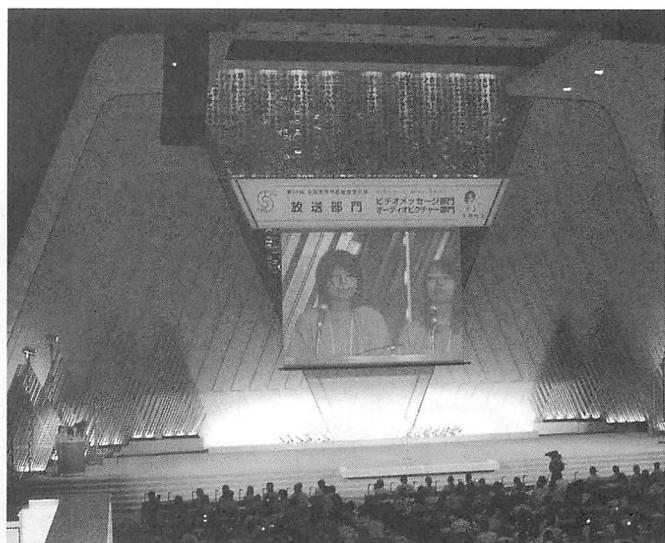
8月5日はアナウンス部門、6日は朗読部門、番組部門（オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門）は5日6日の二日間に渡る日程でした。

アナウンス・朗読の発表は二県が一グループとなって行います。今年はアナウンス部門は開会式の後、秋田県と一緒に最初のグループでした。徳山高校の藤本美智子さんは地域でラムネを販売している会社の女性の社長についての話題、熊毛高校の郷野寛乃さんは地域の酪農家の話題、山口高校の池畠美樹子さんは天文部の制作中の天体観

測機についての発表をしました。

番組はその日の午後、徳山高校のビデオメッセージ「御神籤（おみくじ）」と山口高校のオーディオピクチャー「ちょっと一言よろしいかしら？」の発表がありました。周南市には全国のおみくじの六割を生産しているところがあるのだそうです。人々が一喜一憂するおみくじをつくる人々のおみくじにこめる思いを取材していました。「ちょっと一言よろしいかしら？」は湯田温泉を舞台にした女子高生言いたい放題の作品です。

朗読部門は6日の午後でした。アナウンス部門と番組部門は郷土にゆかりの話題がテーマで、朗読部門は郷土にゆかりの作家・作品を選んで朗読します。熊毛南高校の増岡千晴さんは山口県防府市出身の伊集院静の「えくぼ」、徳山高校の田中亞矢巳さんと山口高校の浅谷結花さんは山口県出身ではないけれど、山口高校の卒業生である重松清の「きよしこ」を朗読しました。浅谷結花さんは優秀賞（放送部門は上位十人に順位をつけずに優秀賞とする）を受賞しました。



将棋部門

会場：京都市パルスプラザ

理事長 岡 茂樹
 (防府高等学校教諭)

第30回全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第42回全国高等学校将棋選手権大会が、8月2～3日に、京都府京都市で開催されました。伏見稻荷大社の近くに宿泊し、白星祈願を狐にして対局に向かいました。古都の風情を感じながらも近代的な建物パルスプラザの大ホールで300人の戦いが始まりました。

予選はスイス式の4回戦。上位に入れば決勝トーナメント進出です。男子団体の宇部高校は、力を発揮できず苦戦。1勝3敗で予選敗退。男子個人の武石君、女子個人の石田さんも残念ながら予選敗退でした。そんな中、女子個人の横田さんは4戦全勝で予選通過、決勝トーナメントの初戦で敗れましたが山口県勢で唯一、気を吐きました。男子の今年の県勢は力不足でしたが、2勝した石田さんとベスト16の横田さんは、全国大会で山口県の女子の棋力の高さをアピールしてくれました。

<男子団体>宇部高等学校

《川口真弘・香具直希・山本真一郎》

一回戦 土佐高校(高知県) 贠 (1勝2敗)
 二回戦 船橋高校(千葉県) 贤 (0勝3敗)
 三回戦 岐阜高校(岐阜県) 勝 (2勝1敗)



四回戦 四日市高校(三重県) 贤 (1勝2敗)

1勝3敗 予選敗退 32位

<男子個人>

《武石啓成(防府高等学校)》

一回戦 須山 勇太(三刀屋高掛合分校) …負
 二回戦 田口 智士(境高) …負
 三回戦 木村 拓哉(熊本工業高) …負
 四回戦 鈴木 直貴(会津学鳳高) …勝
 1勝3敗 予選敗退 34位

<女子個人>

《横田仁美(防府高等学校)》

一回戦 岡田 聰美(春日井南高) …勝
 二回戦 小宮山 舞(西舞鶴高) …勝
 三回戦 堀川まい(札幌北高) …勝
 四回戦 召田 温美(上田染谷丘高) …勝
 4勝0敗 予選通過 4位

決勝トーナメント1回線

今友希奈(戸山高) …負 ベスト16

《石田ともみ(徳山高等学校)》

一回戦 滝野 晴香(八幡浜高) …勝
 二回戦 美馬 香織(土浦日本大学高) …負
 三回戦 三澤満利子(山梨高) …負
 四回戦 山本 若苗(京都外大西高) …勝
 2勝2敗 予選敗退 48位



文芸部門

会場：ガレリアかめおか

山口中央高等学校 文芸部
3年 竹中 梢

全国高総文祭（京都大会）に参加して

《一日目》

初日は京都でも今年1番暑い日で、お昼少し前、現地（ガリレオ亀岡）に着きました。京都の外れにあるとのことで、もっと落ち着いた地区かと思っていましたが、建ち並ぶ建築物に唖然としました。

少し経ち、それぞれの部門に別れての散策が始まりました。私が参加した部門は、廬山寺と源氏ミュージアムに行きました。廬山寺は紫式部縁の地と聞き及んでいたので、訪れることが出来たことが嬉しかったです。ガイドの方に言われるまで気付かなかったのですが、庭園の模様が浮き雲を象っているのに驚きました。源氏ミュージアムでは、薫の宮の恋物語を鑑賞しました。全て手作りの人形で出来ており、人の手で動かしたとは思えないほど滑らかな動きだったので驚きました。

《二日目》

講師の先生をお招きして、前日作成した『写メール短歌』の発表、及び批評を行いました。写メールを撮っての短歌作りは何時もと違い新鮮で、更に誰が何時、何処で、何を思って詠んだのかが不思議と分かるものだったので、とても面白かったです。多少時間が過ぎてしまい、



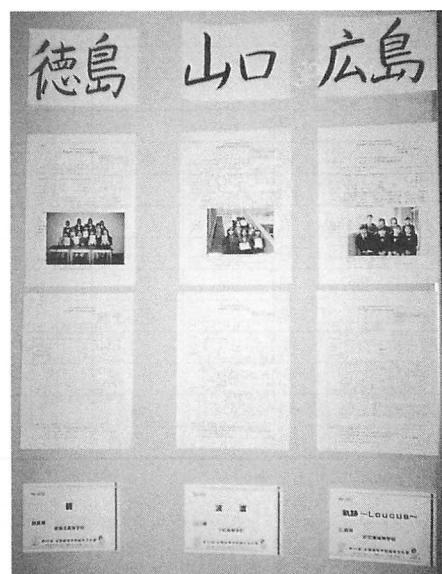
若干の疲れも感じましたが、遠方の県の子と友達になることが出来たことは、良い思い出になりました。

《三日目》

最終日の三日目は、各地区の代表者の作品の批評や意見交換をしました。講師の先生に意味が少し通らないところや、文法上の問題などを指摘していただきました。『豪快な先生』と言うのが私の先生への印象で、正直なところ国語科の先生とは思えませんでした。

午後には、韓国の仮面劇も楽しませていただきました。目の前で繰り広げられる色彩鮮やかな衣服を身に纏った韓国の踊りは、日本の能とは違い、多種の金属楽器や太鼓を使って音楽を奏していました。踊り終わった後の嬉しそうな笑顔に、思わず私も嬉しくなりました。

日程が押しての三日間でしたので、慌ただしくもありましたが、とても充実した日々が送れたと思います。全国高等学校総合文化祭（京都大会）に出られたことは本当に嬉しかったです。



山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧 (1)

番号	学校\事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓	打楽器 トランペット	尺八 オハレッタ	ハーモニカ	交響樂団	演劇	金管合奏	ソプラノ	リコーダー
1	安下庄	63					7		4,10				
2	久賀	63						3	10				
3	岩国										1		
4	岩国総合							11			1		
5	岩国商業			3						62,15			
6	岩国工業							2		6,8			
7	坂上			63	11			5	3				
8	広瀬		14	63				17					
9	高森							2					
10	柳井							7	11				
11	柳井商業							11	14				
12	柳井工業							14	1,4,11				
13	熊毛南	63						6,17	12				分※
14	田布施農業						分15	3,18	5				分18
15	田布施工業								16				
16	光	63						8	17				
17	光丘							8,11	14				
18	熊毛北							2,14	63,7				
19	下松	63				12	7	15					
20	華陵	63						8	1				
21	下松工業							1					
22	徳山		定4			定10	定8	15	12				
23	徳山北		63					4,11	8				
24	徳山商業		5	63					3				
25	徳山工業								4,7	1			
26	鹿野		3			10		9	1,16				
27	新南陽	63							5,14				
28	南陽工業		1					62					
29	佐波			63			7						
30	防府												
31	防府西							10		1			
32	防府商業		定63					12	6	1			
33	山口			定62定16			定15	2					
34	山口中央	63	12			10	13						
35	西京	62						4	7				
36	山口農業							5	3				
37	宇部	63											
38	宇部中央		定1				定14	10※	63				
39	宇部西							14	10				
40	宇部商業			63				62,6	3				
41	宇部工業		13	2				8					
42	小野田		定63	定※									
43	小野田工業		定63						4				
44	厚狭			1				15	9,18				
45	美祢	62				9		4	2		18		
46	大嶺		4							63,13,17			
47	美祢工業							63	10				

ピアノ 弘中 孝
 マリンバ 水野与旨久
 フルート 西田直孝トリオ
 トランペット 田宮堅二
 胡弓 姜建華・楊宝元

尺八と琴 中村明一、八木美知依
 オペレッタ 本月京子ひとりオペラ
 交響樂団 山口県交響樂團
 演劇 のんた・宇部芸術座・海峡座
 金管合奏 東京金管五重奏團

打樂器 韓國の太鼓と踊り
 デュオコンサート 三輪郁・菅沼ゆづき
 ソプラノ 鶴木絵里
 リコーダー・リュート 吉沢実・永田平八

山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧 (2)

番号	学校\事業	ピアノ	マリンバ	フルート	デュオコンサート	胡弓	打楽器	尺八	とけい	琴	交響楽団	演劇	金管合奏	ソプラノ	リコーター
48	田 部									1,13	18				
49	西 市									63					
50	豊 浦														
51	長 府													1	
52	下 関 西														
53	下 関 南														
54	下 関 中 等 教 育											5			
55	下 関 中 央 工 業									12	6				
56	下 関 工 業	62									2				
57	響		5							1					
58	豊 北	62								3	15				
59	日 置 農 業	63	5				15	9		※	2,13				
60	大 津	63								12	5				
61	水 産									12					
62	萩	63								3	6				
63	萩 商 業	63								7	2,12,17				
64	萩 工 業									6,16	4,9				
65	徳 佐			分63						63,10	13				
66	奈 古		分17				11			1,9					
67	盲	63	3			16		8,10	7	1					
68	聾														
69	岩 国 養 護		3,13			16				10※					
70	田 布 施 養 護		6	17						62					
71	徳 山 養 護		11	1											
72	周 南 養 護		15	17											
73	防 府 養 護	62	3	63	12					16					
74	山 口 養 護			※						14					
75	宇 部 養 護		63,5,14							1,9	18				
76	下 関 養 護		2,6							16					
77	豊 浦 養 護		11,16					13			※				
78	萩 養 護		6												
79	下 関 商 業				定14										
80	高 水										62				
81	柳 井 学 園		6								63				
82	聖 光								2						
83	山 口 県 桜 ケ 丘														
84	誠 英										7,9				
85	高 川 学 園														
86	中 村 女 子	63								2,5	11,16				
87	野 田 学 園	63								18					
88	山 口 県 鴻 城									10	12,15				
89	宇 部 鴻 城									7	9				
90	慶 進														
91	成 進														
92	宇部フロンティア大学付属香川									1,5,15	11※				
93	サ ピ エ ル														
94	早 鞠														
95	下関短期大学付属	62,63	4					7			8				
96	長 岡									6					
97	萩 光 塩 学 院														

(注) <62～平18……実施年度><※印……平成19年度実施予定>

《自主事業》～リコーダーとともに～

田布施農業高校大島分校

☆ 普段リコーダーを吹くのは授業時間以外ではなく、単純な曲ぐらいしか吹けないのだろうと思っていましたが、今日の演奏を聞いて、こんな曲も吹くことができるのだと改めて思いました。

☆ 笛の中でも、パンの音色は女人が歌っているように感じました。リュートとリコーダーは、それぞれ異なった楽器だけど、その音色はお互いに引き立て合いながら、よりすばらしい曲になっていく。楽器には国境も無い。時代によっても音は異なるけれど、それもまた良いところなのだろうと感じました。これからはもっとたくさんの楽器にふれ、少しづつ知識を身につけたいと思います。



☆ （※聞いていて）心が癒されて、つらい時があっても今日のことを思いだしてがんばろうという気持ちがありました。特に私は「小鳥の音楽」が好きになりました。短い時間でしたが、演奏だけでなく、お話しもしていただけだったので、楽しい時間でした。

☆ はじめ、リュートは「びわ」ではないかと思ったのですが、びわとは、重さ・形など何点か違うところがあって、少し驚きました。リコーダーでは、1年生の時まで使っていたアルト、ソプラノとは違い、見たことはあっても音を聞いたことがないリコーダーが多く、今回、沢山のリコーダーの音を聞くことができ、とても良い体験ができたと思います。

☆ リコーダーとリュートの「タイタニック」の曲が好きでした。リコーダーはいろいろな種類があることがわかりました。小さいリコーダーは鳥の声にそっくりでかわいい音色でした。私が好きになったリコーダーはフランスの笛です。

☆ リュートは弦楽器でよく聞く名前だったけど、初めて実物を見ました。形がダチョウに似ていておもしろいと感じました。あんなにきれいな音が出てびっくりしました。

《自主事業》～鵜木絵里ソプラノコンサート～

美祢高等学校 2年 傑 桜子

ソプラノコンサートを生で見るのは初めてだったので、すごい感激でした。あんなに高い声がどんどん出てきているのを見て、「どんなことがノドの中で起きてるんだろう…。」とずっと考えてました。ピアノも、すごくきれいな音で、ソプラノと合わさるともっと良い音楽になっていました。こうやって聞いていた時間は、とても気持ち良かったです。



《自主事業》【巡回演劇公演】 ～劇「べっかんこ鬼」を見て～

田部高等学校 2年 藤中 奈美
劇を間近で見て、一人一人の役の思い、感情が演技によく表現されていて、劇全体がとても見やすく楽しみやすくて良かったです。

一時間という短い時間の中で、あれだけ奥深い劇が見れて良かったし、とても楽しかったです。セリフの中に声を揃える部分も、普通にすごいなあって思いました。常にコミュニケーションがとれているからこそできるものなのかなって思ったりもしました。

劇を見ていて暗転がちょっと多い気がしたけど照明や背色が上手い具合に合ってて雰囲気がでてて、それぞれの場面が繊細に伝わってきました。

物語が純愛ものだったので切ない場面が多い

かと思っていたけど、盲目的少女の演技が上手だったし、全体的に演技力の高さに驚きました。

個人的に劇団の劇を見るのは初めてだったので、本当に見て嬉しかったです。今回の文化公演会のおかげで劇というものの素晴らしさを実感できてとても楽しかったです。また、このような機会があれば良いなと思いました。



～劇「夕鶴」を見た感想～

宇部養護学校

☆ 6月8日の午後の劇の鑑賞で、「夕鶴」を見た感想……

それは、人間のエゴ（欲望）を思い知られる、辛く悲しい劇でした。

つうが、とてもかわいそうでした…。

劇団のみなさん、とても上手な演技をありがとうございます!!



☆ 僕は初めは夕鶴はなんだろうと思いながら体育館に行きました。でも体育館の中は大道具や小道具の準備などがとてもすばらしいと思いました。

僕が最初にビックリしたことは、1年生から6年生までの人が長いセリフを言っていることがすごかったし大人の人も、演劇もすばらしくって感動しました。しかも人前で大きな声がでているのもよかったです。今から実習に行っても声が必要ってことがわかりました。

大変だけどがんばってください。いい演劇が見れてうれしかったです。

《自主事業》 【山口県交響楽団演奏会】

田布施農業高等学校

本格的なオーケストラの演奏を身近に聴くことができて、感激でした。初めて聴く曲もありましたが、司会の方のわかりやすい解説で、楽しく聴くことができました。指揮者に挑戦コーナーでは、同じ曲でも指揮の仕方一つで、随分違って演奏されるんだなということが分かりました。また機会があったら、是非このような演奏会を聴きに行きたいです。



平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」(学校公演)



【音楽劇】

10月23日（月）

於 下関中等教育学校



【邦楽・邦舞】

11月24日（金）

於 宇部高等学校

平成18年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告】

月	日	事業	会場	
4	12 19	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校	
5	(上旬) 12 23 24 27~28	平成17年度「高文連」発行 鶴木絵里ソプラノコンサート 県高校総合文化祭（将棋）	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	山口市 東京都フロラシオン青山 美祢高校 防府市文化福祉会館
6	6 8 14 15 16~17 17	リコーターとともに 巡回演劇「劇団のんた」 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠剣詩舞）		田布施農業高校大島分校 宇部養護学校 田布施農業高校 防府市公会堂 防府市公会堂 シンフォニア岩国
7	7		第16回中国地区高文連関係者合同会議	岡山市
8	1~6 2~6 26~27	第30回全国高等学校総合文化祭 第17回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会	京都府 京都府 東京都 国立劇場
9	8	巡回演劇「劇団海峡座」		厚狭高校
10	14 20 21 22 23 28~29	巡回演劇「宇部芸術座」 本物の舞台芸術体験事業（音楽劇） 県高校総合文化祭（文芸） 県高校総合文化祭（囲碁） 本物の舞台芸術体験事業（音楽劇） 県高校文化祭（演劇）		田部高校 下関西高校 周南市市民館 周南市総合スポーツセンター 下関市中等教育学校 山口情報芸術センター
11	3~12 11 16 17 21 24	県高校総合文化祭（放送） 山口県交響楽団演奏会 第8回高校生文芸道場 中国ブロック大会 本物の舞台芸術体験事業（邦楽・邦舞）	第21回国民文化祭やまぐち2006 第1回高文連理事長会	山口県内各地 ニューメディアプラザ山口 野田学園高校 岡山市 山口中央高校 宇部高校
12	23	第8回高校生文芸道場総合大会		東京都
1	12~14 25~26 26	県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真）	第18回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	山口県立美術館 高松市 高松市
2	1~3 5 13 20 23	第15回全国高文連 将棋新人大会 岩国工業 本物の舞台芸術体験事業（追加公演・音楽劇）	第2回高文連理事長会 社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連企画運営委員会	香川県琴平町 山口中央高校 東京都フロラシオン青山 山口中央高校 岩国工業高校
3	2 27	第26回器楽管弦楽スプリングコンサート	平成18年度中国地区高文連実務担当者会議	岡山市 下関市

【その他】県高校総合文化祭準備（実行）委員会

総合開会式・音楽関係 4部門（防府高校）

展示関係 3部門（山口中央高校）

日本音楽・吟詠剣詩舞部門（岩国高校）

演劇部門（山口高校）

囲碁部門（徳山商工高校）

放送部門（山口高校）

将棋部門（防府高校）

文芸部門（徳山商工高校）

主管校を中心開催

各専門部会 部会長校を中心開催

各専門部研修会 县下各地において開催

平成18年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	4,865,484	4,865,484	0	
会費	13,297,000	13,460,200	163,200	
(内訳)	13,125,000 61,000 111,000	13,285,300 64,700 110,200	160,300 3,700 △ 800	全日制 350円×37,958人 定時制・盲・聾・養 50円×1,294人 学校負担金 100円×1,102学級
補助金	3,470,000	3,970,000	500,000	
(内訳)	954,000 100,000 2,416,000 0	954,000 100,000 2,416,000 500,000	0 0 0 500,000	県総文祭県補助金 防府市補助金 全総文祭県補助金 奨励金 日本教育公務員弘済会
調整基金から繰入	0	0	0	
雑収入	2,516	2,763	247	利息
合計	21,635,000	22,298,447	663,447	

(支出の部)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要	
運営費	1,147,600	949,263	198,337		
(内訳)	事務用品費 通信費 分担金	220,000 400,000 527,600	121,635 300,028 527,600	事務用品、写真、事務機器維持 電話、郵便、運送料等、傷害保険料 全国会費、賛助会費、中国分担金	
会議費	1,415,000	1,265,386	149,614	全国会議90万、研究大会7万、県内会議29.5万	
事業費	17,908,000	14,622,497	3,285,503		
(内訳)	県総文祭 全総文祭 自主事業 大会補助金 専門部会費 印刷費 特別研修費	7,404,000 6,050,000 1,668,000 50,000 1,656,000 1,080,000 0	6,135,928 4,142,703 1,542,000 50,000 1,575,666 676,200 500,000	1,268,072 1,907,297 126,000 0 80,334 403,800 △ 500,000	総合開会式、各部門大会開催費(別紙) 生徒旅費301万、引率旅費38万、運送費75万 7公演 盲・聾・養護学校文化祭 研修費、通信費、全国高文連分担金 高文連集録 会報、県総文ボスター
調整基金	0	1,000,000	△1,000,000	調整基金会計へ繰り入れ	
予備費	1,164,400	0	1,164,400		
合計	21,635,000	17,837,146	3,797,854		

(収入) 22,298,447 - (支出) 17,837,146 = (繰越) 4,461,301

平成18年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計より繰り入れ	今年度末残高
11,000,000	1,000,000	12,000,000

上記の通り相違ありません

平成19年4月12日

監事 豊岡若和
監事 山本信夫




平成19年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事業	会場
4	12 17	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	(上旬) 11 22 26~27	平成18年度「高文連」発行 高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会 県高校総合文化祭（将棋）	山口市 東京都 フロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	14 14 15~16 16 20 21 21 29	A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳、コンサート（補助公演） 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭（器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワリング） 県高校総合文化祭（日本音楽、吟詠剣詩舞） A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳、コンサート（補助公演） A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳、コンサート（補助公演） A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳、コンサート（補助公演） リコーダーとともに	新南陽高校 宇部市渡辺翁記念会館 宇部市渡辺翁記念会館
7	(上旬) 12 13 28~2 29~2 30	巡回演劇「劇団海峡座」 巡回演劇「宇部芸術座」 第31回全国高等学校総合文化祭 社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	広島市 豊浦養護学校 宇部フロンティア大学附属香川高校
8	25~26	第18回全国高総文祭優秀校東京公演	東京都 国立劇場
10	1 2 14 27~28 28	三輪 郁・三輪 愛デュオコンサート 三輪 郁・三輪 愛デュオコンサート 巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭（演劇） 県高校総合文化祭（囲碁）	小野田高校定期制 山口養護学校 岩国養護学校 周南市市民館 徳山商工高校
11	(上旬) 3 5 5 16~18 17 22~24	県高校総合文化祭（放送） 山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭（美術・工芸、書道、写真） 県高校総合文化祭（文芸）兼 第9回高校生文芸道場中国ブロック大会 第45回中国地区高等学校演劇発表会	第1回高文連理事長会 山口中央高校 ニューメディアプラザ山口 日置農業高校 宇部中央高校 ときわ湖水ホール 周南市新南陽 ふれあいセンター 山口市情報芸術センター
12	13 14 22	第9回高校生文芸道場総合大会	仙台市 仙台市 東京都
1	24~26	第16回全国高文連将棋新人大会	秋田県仙北市田沢湖
2	(上旬) (下旬)	第2回高文連理事会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
3	(上旬) (下旬)	第27回器楽管弦楽スプリングコンサート	広島市 山口市民会館

【その他】県高校総合文化祭準備（実行）委員会

総合開会式・音楽関係4部門（宇部高校）

展示関係3部門（宇部中央高校）

日本音楽、吟詠剣詩舞部門（山口県鴻城高校）

演劇部門（華陵高校）

囲碁部門（徳山商工高校）

放送部門（山口高校）

将棋部門（防府高校）

文芸部門（徳山高校）

主管校を中心に開催予定

各専門部会部会長校を中心に開催予定

各専門部研修会県下各地において開催予定

平成19年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
繰越金	4,461,301	4,865,484	△ 404,183	
会費	13,575,250	13,297,000	278,250	
(内訳)	13,399,050 66,000 110,200	13,125,000 61,000 111,000	274,050 5,000 △ 800	全日制 350円×38,283人 定時制・盲・聾・養 50円×1,320人 学校負担金 100円×1,102学級
補助金	2,860,000	3,470,000	△ 610,000	
(内訳)	954,000 100,000 1,806,000	954,000 100,000 2,416,000	0 0 △ 610,000	県総文祭県補助金 宇都市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑収入	3,449	2,516	933	利息
合計	20,900,000	21,635,000	△ 735,000	

(支出の部)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
運営費	1,147,600	1,147,600	0	
(内訳)				
事務用品費	220,000	220,000	0	事務用品、写真、事務機器維持費
通信費	400,000	400,000	0	電話、郵便、運送料等、傷害保険料
分担金	527,600	527,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会議費	1,325,000	1,415,000	△ 90,000	全国会議80万、研究大会17.5万、県内会議35万
事業費	17,124,000	17,908,000	△ 784,000	
(内訳)				
県総文祭	7,470,000	7,404,000	66,000	総合開会式、各部門大会開催費(別紙)
全総文祭	4,340,000	6,050,000	△1,710,000	生徒旅費200万、引率旅費181万、運送費53万
自主事業	2,268,000	1,668,000	600,000	12公演
大会補助金	450,000	50,000	400,000	盲・聾・養文化祭 演劇・文芸中国大会
専門部会費	1,836,000	1,656,000	180,000	研修費、通信費、各部門全国分担金
印刷費	760,000	1,080,000	△ 320,000	集録 会報 県総文ポスター 賞状印刷
調整基金	0	0	0	
予備費	1,303,400	1,164,400	139,000	
合計	20,900,000	21,635,000	△ 735,000	

平成19年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計より繰り入れ	今年度末残高
12,000,000	0	12,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している盲学校、聾学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|----------------------------|----------------|
| (1) 会長 1人 | (5) 専門部会長 14人 |
| (2) 副会長 若干人 | (6) 専門部理事長 14人 |
| (3) 評議員 95人以上（会長及び副会長を含む。） | (7) 監事 2人 |
| (4) 支部長 7人 | (8) 参与 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。

(4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。

(3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。

(4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。

(5) 監事は、会計を監査する。

(6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

(1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会

2 会議の議長は、会長がこれに当たる。

3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 評議員から委任された事項 (2) 会務の運営及び執行に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。

3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。

4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、

寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雜 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

〈会費内訳〉各高等学校生徒一人当たり1年に（全日制生徒） 350円

（定時制、盲、聾、養護学校高等部生徒） 50円

各学校負担金（定時制、盲学校、聾学校、及び養護学校は除く） 学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係
イ 庶務係
ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[表彰規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。
(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正

- 1 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
- 2 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
- 3 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
生徒は [交通費実費(学割・団体割引)+宿泊費(大会規定料金)×2泊]×1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
- 4 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会(顧問会議、支部会議等)を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

平成18年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

平成19年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名		氏名		支部・専門部				所属校			
会長	八幡ミエ	上田一俊	大人裕生					山口中央高	山口中央高	山口中央高	校校校校校
副会長	岩下誠	末野英	貞吉高					中国高	中国高	中国高	校校校校校
参与	防府高	島俊泰	中島俊泰					西高	西高	西高	校校校校校
支部長	岩柳高	柳井山	上田一芳	人孝章	国井山	支支支	支支支	岩柳高	岩柳高	岩柳高	校校校校校
"	高	柳井山	平川田	孝章	柳井山	柳井山	柳井山	高	高	高	校校校校校
"	高	柳井山	橋田	八幡	柳井山	柳井山	柳井山	高	高	高	校校校校校
"	高	柳井山	藤原	フミエ	柳井山	柳井山	柳井山	高	高	高	校校校校校
"	高	柳井山	永泰	紀文	柳井山	柳井山	柳井山	中等教育	中等教育	中等教育	学校学校校
"	高	柳井山	康村	文男	柳井山	柳井山	柳井山	高	高	高	校校校校校
専門部会長	山口県高	鴻城高	佐藤紀二	知健敏	演劇部	演劇部	演劇部	山口県高	山口県高	山口県高	校校校校校
"	高	城高	江原二男	二男	器楽・管弦樂部	器樂・管弦樂部	器樂・管弦樂部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	藤嶋文紀	文紀	合唱部	合唱部	合唱部	南	南	南	校校校校校
"	高	高	田中博	博	吹奏樂部	吹奏樂部	吹奏樂部	央	央	央	校校校校校
"	高	高	佐藤知	知	マーチングバンド・バトンワリング部門	マーチングバンド・バトンワリング部門	マーチングバンド・バトンワリング部門	高	高	高	校校校校校
"	高	高	吉野紀生	生	日本音楽部	日本音楽部	日本音楽部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	(休部)		吟詠詩舞部	吟詠詩舞部	吟詠詩舞部	英	英	英	校校校校校
"	高	高	伊藤薰	薰	歌舞部	歌舞部	歌舞部	(休部)	(休部)	(休部)	校校校校校
"	高	高	吉松道	道	美術部	美術部	美術部	業	業	業	校校校校校
"	高	高	弘植真	真	書写部	書写部	書写部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	植吉茂	茂	囲碁部	囲碁部	囲碁部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	吉中	中	放送部	放送部	放送部	山口高	山口高	山口高	校校校校校
"	高	高	植俊	俊	将棋部	将棋部	将棋部	府高	府高	府高	校校校校校
専門部理事長	山口県高	鴻城高	村岡圭	吾生幸	演劇部	演劇部	演劇部	山口県高	山口県高	山口県高	校校校校校
"	高	高	飯田五	五郎	器楽・管弦樂部	器楽・管弦樂部	器楽・管弦樂部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	三好正	正浩	合唱部	合唱部	合唱部	南	南	南	校校校校校
"	高	高	西村道	道	吹奏樂部	吹奏樂部	吹奏樂部	央	央	央	校校校校校
"	高	高	繩橋三	三	マーチングバンド・バトンワリング部門	マーチングバンド・バトンワリング部門	マーチングバンド・バトンワリング部門	高	高	高	校校校校校
"	高	高	(休部)		日本音楽部	日本音楽部	日本音楽部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	宮口次	次	吟詠詩舞部	吟詠詩舞部	吟詠詩舞部	英	英	英	校校校校校
"	高	高	有嶺龍	龍	美術部	美術部	美術部	(休部)	(休部)	(休部)	校校校校校
"	高	高	佃富由	由	書写部	書写部	書写部	業	業	業	校校校校校
"	高	高	広次	次	囲碁部	囲碁部	囲碁部	高	高	高	校校校校校
"	高	高	吉宮	宮	放送部	放送部	放送部	山口高	山口高	山口高	校校校校校
"	高	高	吉瀬	瀬	将棋部	将棋部	将棋部	府高	府高	府高	校校校校校
監事	防府商高	業高	山本信	信夫					防府商高	防府商高	校校校校校
"	高	高	豊芳	芳和					京高	京高	校校校校校
事務局長	山口中央高	中央高	角中	中嶋	悦太郎	悦太郎	悦太郎	山口中央高	山口中央高	山口中央高	校校校校校
総務務務務務	山口中央高	中央高	柴新	新竹	正比古	正比古	正比古	山口中央高	山口中央高	山口中央高	校校校校校
庶庶庶庶庶會	山口中央高	中央高	実近	近佳	芳明	芳明	芳明	山口中央高	山口中央高	山口中央高	校校校校校
務務務務計	山口中央高	中央高	堀豊	豊	啓眞利子	啓眞利子	啓眞利子	山口中央高	山口中央高	山口中央高	校校校校校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向川栄美作詞

乗松美紀作曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ 一ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ぼくらのぶんか を つくる ため 一 に
ぼくらのぶんか を きずく ため 一 に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間はいつも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

合 唱	三 好 五 郎	(県立宇部中央高等学校)
マーチングバンド バトントワリング	繩 田 道 孝	(山口県鴻城高等学校)
器 樂・管 弦 樂	飯 田 幸 生	(県立下関南高等学校)
吹 奏 樂	藤 本 博 途	(県立岩国商業高等学校)
演 劇	村 岡 圭 吾	(山口県鴻城高等学校)
日 本 音 樂	田 邊 亨 子	(早 鞠 高 等 学 校)
美 術・工 芸	古 賀 隆 光	(県立宇部高等学校)
書 道	有 富 由 美	(県立防府高等学校)
写 真	佃 幸 憲	(県立光高等学校)
囲 暮	広 瀬 泰 夫	(県立徳山商工高等学校)
将 棋	岡 茂 樹	(県立防府高等学校)
放 送	吉 川 佳 子	(県立山口高等学校)
文 芸	國 嶋 洋 治	(県立徳山商工高等学校)

(事務局)

事務局長 角中 悅太郎 (県立山口中央高等学校)
総務 新竹 伸芳 ("")
庶務 実近 佳明 ("")
庶務 堀田 啓子 ("")
会計 豊川 真利子 ("")

କୁଳାଙ୍କାରୀ ପାଇଁ ଏହାରେ କିମ୍ବା ଏହାରେ କିମ୍ବା ଏହାରେ କିମ୍ବା ଏହାରେ କିମ୍ବା ଏହାରେ କିମ୍ବା

平成18年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編集・発行 山口県高等学校文化連事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-932-0818
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／光永あすさ
(山口中央高校2年)

